

4. 教職員の研究活動

- 4.1 教員の専門分野と研究紹介（学科別）
- 4.2 研究業績
- 4.3 外部研究費受入
- 4.4 教員の活動状況

4. 教職員の研究活動

4.1 教員の専門分野と研究紹介（学科別）

（校長）

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
八尾 健	校長	工学博士	無機材料化学	機能性無機材料の解析，設計，開発

（機械工学科）

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
岡田 憲司	教授	工学博士	信頼性工学 材料強度学	(1) 疲労強度データベースの構築と解析 (2) S-N曲線の回帰法と推定法
木原 茂文	教授	博士（工学）	塑性加工	逐次成形法に関する研究
岩田 弘	教授	博士（工学）	機械工学	光ファイバーセンサー，円板振動， 防災機器の開発，ソーラーカー
橋本 良夫	教授	博士（工学）	計算力学	機械系の振動シミュレーション
山崎 容次郎	教授	工学修士	ロボティクス 機械制御工学	多自由度ロボットの位置と力の制御に関する研究
小島 隆史	教授	博士（工学）	熱工学	ディーゼル PCCI 燃焼機構の解明
吉永 慎一	准教授	博士（工学）	制御工学	進化的計算手法を用いた制御系設計
上代 良文	准教授	博士（工学）	流体工学	乱流境界層の壁面近傍の渦構造に関する研究
伊藤 勉	准教授	博士（工学）	材料物理学 材料強度物性学 接合科学	粒内変形支配型超塑性に関する研究 摩擦攪拌処理技術に関する研究 放電プラズマ焼結に関する研究 耐熱チタン合金に関する研究 難燃性マグネシウム合金に関する研究 抗菌材料に関する研究 結晶性金属材料の疲労強度信頼性に関する研究
高橋 洋一	講師	博士（工学）	精密加工学	固定砥粒研磨工具の開発

(電気情報工学科)

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
本田 道隆	教授	情報学博士	画像工学	診断放射線画像の画質分析と画像処理
鹿間 共一	教授	工学博士	薄膜工学	大気圧低温プラズマによる酸化亜鉛薄膜の作製
重田 和弘	教授	博士(工学)	教育工学 情報通信工学	やる気を引き出す家庭学習管理システムの開発と評価
辻 正敏	教授	博士(工学)	マイクロ波工学 無線通信工学 集積回路	小形フェイズドアレーアンテナ, 高信頼性マイクロ波センサ, マイクロ波回路
漆原 史朗	准教授	博士(工学)	制御工学	モーションコントロール
太良尾 浩生	准教授	博士(工学)	生体電磁気学	低周波電磁界のばく露評価
村上 幸一	准教授	博士(工学)	知識工学 教育工学 農業情報工学	アカメラを用いた農作業技術継承マニュアル 機械学習を用いた収穫予測システムの開発 農業従事者を対象とした音声対話システムの開発
柿元 健	講師	博士(工学)	ソフトウェア 工学	ソフトウェア開発マネジメント
雛元 洋一	助教	博士 (情報学)	デジタル 信号処理	適応システム論
山本 雅史	助教	博士(工学)	表面処理	ラジカルの生成とその応用に関する研究

(機械電子工学科)

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
平岡 延章	教授	博士(工学)	機械制御	ステッピングモータを用いた機械システムの制御に関する研究
十河 宏行	教授	博士(工学)	機械力学	受動型立ち座り支援システムの試作と評価 野球打撃時における熟練度の定量的比較
徳永 秀和	教授	博士(工学)	人工知能	テキストマイニングと集合知
由良 諭	准教授	博士(工学)	制御工学	モーションコントロール
相馬 岳	准教授	博士 (材料科学)	エネルギー 材料	熱電発電モジュールの開発
嶋崎 真一	准教授	博士(工学)	材料 プロセス学	熔融金属中の介在物粒子の挙動 材料電磁プロセッシング
逸見 知弘	准教授	博士(工学)	制御工学	非線形・劣駆動システムの制御系設計 人が持つ技能データの制御技術への応用 制御工学教育普及に関する研究
正箱 信一郎	准教授	博士(工学)	溶接工学	宇宙溶接技術, アーク溶接の自動化
石井 耕平	助教	博士(医学)	医用生体工学	付け爪型光電脈波計の開発
津守 伸宏	助教	博士(工学)	光学	局在光を用いた局所測定・加工・制御

(建設環境工学科)

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
小竹 望	教授	博士(工学)	地盤工学	地盤改良・補強, 資源循環, ジオシンセティックス
向谷 光彦	教授	博士(工学)	地盤工学	実践的な原位置透水試験装置の研究開発, 高性能なコンクリートブロック製品の開発
鶴本 良博	准教授	工学修士	海岸工学	各種防波堤の研究
宮崎 耕輔	准教授	博士(工学)	交通計画 土木計画	公共交通が不便な地域における生活交通 の確保に関する研究
多川 正	准教授	博士(工学)	環境工学	廃棄物・廃水からの有用エネルギー回収 低コスト型下・廃水処理技術の開発
林 和彦	准教授	博士(工学)	コンクリート 構造	コンクリートの非破壊検査手法の開発と 橋梁の維持管理手法の構築
柳川 竜一	講師	博士(工学)	沿岸防災工学 沿岸生態系工学	瀬戸内海の数値流動モデルの構築 四国地域の津波被害と総合防災対策
今岡 芳子	講師	博士(工学)	環境計画 都市計画	①子ども・高齢者の生活に着目した都市施 設等のあり方に関する研究 ②地熱発電所建設における社会環境に関 する研究
高橋 直己	助教	博士(農学)	水工学 生態工学	流れの制御による水生生物の生息場の創出
鈴木 麻里子	助教	博士(農学)	農業土木	環境に配慮した土木材料の力学特性に関 する研究

(通信ネットワーク工学科)

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
福永 哲也	教授	博士(工学)	通信工学	ベクトル量子化の高速化手法の開発
塩沢 隆広	教授	博士(工学)	マイクロ波フォトニクス 光エレクトロニクス 光通信システム 三次元画像工学	電界カメラの応用に関する研究, 高周波電界の三次元表示に関する研究, 医用画像の三次元表示に関する研究
澤田 士朗	教授	理学博士	物理学	系外惑星, ガンマ線バースト残光の観測
井上 忠照	教授	博士(工学)	通信工学	音響管を用いた集音器について, 他
一色 弘三	教授	博士(工学)	医用生体工学	生体インピーダンス計測
横内 孝史	教授	博士(工学)	光ファイバ 応用技術	光ファイバセンシング
真鍋 克也	准教授	工学修士	電磁界理論	電磁波散乱
高城 秀之	准教授	情報工学 修士	教育工学	アドホック/センサーネットワークの技 術を応用したタブレット教育環境の構築
正本 利行	准教授	博士(工学)	情報伝送工学	線形符号に対する汎用復号アルゴリズム の構築
小野 安季良	准教授	博士(工学)	通信工学	部品実装時の開放故障検出に関する研究
桑川 一也	准教授	博士(理学)	通信ネットワーク 工学	インターネットにおける輻輳制御
白石 啓一	准教授	博士(工学)	情報工学	数式処理, ネットワーク, eラーニングに 関する研究
草間 裕介	准教授	博士(工学)	電磁波工学	RF エンジニア育成プログラムの開発
川久保 貴史	講師	博士(工学)	微小電子源	微小電子源の高輝度化に関する研究

(電子システム工学科)

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
長岡 史郎	教授	工学博士	半導体デバイス 超伝導デバイス	Sol-Gel 薄膜固体拡散源を用いたシリコン半導体デバイスの作製と評価及びその応用
矢木 正和	教授	学士	固体物性	発光デバイス材料および太陽電池材料の光物性評価 高感度・低雑音の固体用光音響セルおよびそれを用いた新しい光物性評価システムの開発
三河 通男	准教授	博士(工学)	薄膜工学	酸化物半導体材料の開発
JOHNSTON. Robert Weston	准教授	修士 (教育学)	コンピュータ科学 教育学	脳コンピュータインターフェース, 教育工学, 環境リモート監視及び制御システム
月本 功	准教授	博士(工学)	論理回路工学	電流テストによる論理回路の検査
天造 秀樹	准教授	博士(工学)	放射線計測	放射線遮蔽に関する教材開発
森宗 太郎	講師	博士(工学)	光センサ	有機半導体を用いた光センサ
清水 共	講師	博士(工学)	半導体 デバイス	極微細半導体素子のキャリア特性
藤井 宏行	講師	博士(工学)	教育工学 人工知能	物理学学習用 3D ゲーム開発, 粟島船員 OB 資料アーカイブに関する研究
岩本 直也	助教	博士(工学)	半導体デバイス 電子計測	小型センサを利用した計測技術の開発
杉本 大志	助教	博士(工学)	ロボティクス 組込みシステム 機械学習	ロボット制御における状態行動対予測に関する研究

(情報工学科)

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
松下 浩明	教授	工学博士	情報工学	プログラミング教育の研究
福間 一巳	教授	博士(理学)	物理学	重力のゲージ理論
宮武 明義	教授	博士(工学)	情報工学	教育支援システムに関する研究
徳永 修一	教授	博士(工学)	機械工学	画像情報システム
河田 進	教授	学士	情報工学	発達障害支援者のための支援システム
鱒目 正志	教授	学士	情報システム	データベース支援システム
河田 純	准教授	博士(工学)	計算機シミュレーション 放射線物理	計算機シミュレーションによる荷電粒子 固体表面相互作用に関する研究
金澤 啓三	准教授	博士(工学)	情報工学	画像処理に関する研究
近藤 祐史	准教授	修士(工学)	数式処理	数式処理とその周辺の研究
奥山 真吾	准教授	博士(理学)	数学	一般コホモロジー論の幾何学的構成
川染 勇人	講師	博士(エネルギー科学)	プラズマ分光	モンテカルロシミュレーションによる周 辺プラズマ領域での He I 発光分布の解析
篠山 学	講師	博士(工学)	自然言語処理	人間の誤認識・忘却による言語現象や対話 ・感情に関する研究

(一般教育科)

(高松)

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
河野 通弘	教授	法学修士	法学	科学的捜査と適正手続
谷口 浩朗	教授	博士(理学)	数学	代数的組合せ論
坂本 具償	教授	修士	中国古代思想史	漢代春秋学の研究
高橋 宏明	教授	理学修士	数学	楕円種数, 楕円コホモロジーとその拡張など場の理論と関係した形式群とその位相幾何学への応用
岡野 寛	教授	博士(工学)	材料物性	機能性薄膜の作製とその応用
田口 淳	教授	教育学修士	西洋教育史	ヘルバルト教育学
中瀬 巳紀生	教授	体育学修士	コーチ学	バレーボールのコーチング
伊藤 喜久代	教授	Ph. D.	音声-言語-聴覚科学	第二言語としての英語連続音声の知覚
澤田 功	教授	博士(理学)	物性理論	多体系の輸送現象
橋本 典史	准教授	理学博士	化学教育 有機合成化学	最先端の化学研究の内容を導入した化学教育教材の開発
吉澤 恒星	准教授	体育学修士	コーチング論 トレーニング理論	野球投手のトレーニング 野球チームの指導法 暗黙知のデジタル化
長原 しのぶ	准教授	文学(博士)	日本近現代文学	太宰治, 遠藤周作を中心としたキリスト教と文学
與田 純	准教授	文学修士	西洋史	イギリス近現代史

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
市川 研	准教授	MA (英語教授法), 修士 (国際コミュニケーション)	英語教育, 異文化トレーニング	カルチャー・アシミレーターを用いた英語教育
星野 歩	准教授	博士 (理学)	量子群の表現論	結晶基底, Macdonald 多項式, 変形W代数
佐藤 文敏	准教授	Ph. D.	代数幾何	安定曲線のモジュライ
遠藤 友樹	准教授	博士 (理学)	原子核理論	クォーク核物理学による高密度天体の解明
鳥羽 素子	講師	修士 (言語教育学)	英語教育, 応用言語学	英語メンタルレキシコン内の語彙ネットワーク網の構築におけるアウトプットの役割
徳永慎太郎	講師	修士	TESOL	英語教育

(一般教育科)

(詫間)

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
出淵 幹郎	教授	文学士	英語教育 臨床心理	外国語としての英語教授法, カウンセリングの技法
南 貴之	教授	理学修士	微分方程式	Hamilton 系の積分可能性について
内田 由理子	教授	教育学修士	教育学・女性学	女性技術者のキャリア形成および女子キャリア教育 高専における歴史教育
東城 敏毅	教授	博士(文学)	上代日本文学	『万葉集』防人歌群の研究
有馬 弘智	教授	学士	保健体育	学生の運動能力の研究
畑 伸興	准教授	文学修士	英文学	John Keats 研究
富士原伸弘	准教授	博士(文学)	上代文学	古事記の説話・日本神話
橋本 竜太	准教授	博士(学術)	数学	整数論, 連分数論, 数式処理, 数学教育
上原 成功	准教授	博士(理学)	幾何学的位相空間論, 数学教育	無限次元位相空間の特徴付け, 高専の数学教育
森 和憲	准教授	MA in Applied Linguistics 修士(文学)	英語教育	コンピュータを利用した英語教育 English for Specific Purpose
水野 知津子	准教授	英語教育学 修士・TESOL 修士号	英語教育	英語苦手改善, 英語力向上, 多読の有効利用, リフレクション
横山 学	准教授	体育学士	陸上競技 健康教育	コーチング論, 陸上競技方法論, 体位

氏名	職名	学位	専門分野	研究テーマ
中村 篤博	准教授	博士（理学）	大気化学	瀬戸内海沿岸部における大気エアロゾルの化学成分と大気降下物
黒木 経秀	准教授	博士（理学）	素粒子論	場の理論，弦理論
山岡 健次郎	講師	博士	政治思想	難民移動と戦後難民保護レジーム

4.2 研究業績

4.2.1 学位取得状況

最終学位	校長	機械	電気 情報	機械 電子	建設 環境	通信	電子	情報	一般 (高松)	一般 (詫間)	計
博士	1	9	10	10	10	12	9	9	9	7	86
修士		1			1	2	1	1	10	5	21
現員	1	10	10	10	11	14	11	12	19	15	113

4.2.2 学科別研究成果発表状況

学科	著書	査読論文	国際会議	学会発表	特許	その他	計
校長	1	16	16	13	1	0	47
機械	1	6	8	45	1	11	72
電気情報	0	11	15	27	2	5	60
機械電子	0	9	3	47	3	21	83
建設環境	0	10	12	38	2	18	80
通信ネットワーク	0	4	5	6	0	1	16
電子システム	0	17	38	16	0	51	122
情報	0	7	8	9	0	7	31
一般教育（高松）	0	10	6	10	3	13	42
一般教育（詫間）	2	5	3	9	0	20	39
合計	4	95	114	220	12	147	592

※研究成果発表の分類については、次のとおりとする。

- ① 著書
- ② 査読論文：学術雑誌における発表（解説論文を含む）
- ③ 国際会議：国際会議，国際シンポジウムなどにおける発表
- ④ 学会発表：国内の学会等における口頭発表，ポスター発表（技術研究報告を含む）
- ⑤ 特許
- ⑥：その他（受賞，研究紀要，書籍投稿など）：上記以外の発表（研究紀要を含む）

※個人の研究業績については，第一著者でない場合でも，学内外を問わずすべて業績リストに記載した。

4.2.3 学科・個人別

(校長)

八尾 健

①雑誌論文

・ 査読有

- Takeshi Yabutsuka, Keito Fukushima, Yasutaka Kidokoro, Takahiko Matsunaga, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Fabrication of Bioactive Fiber Reinforced Polyetheretherketone by the Function of Apatite Nuclei", *Bioceramics*, Vol.28, pp.246-251, 2017.
- Takeshi Yabutsuka, Keito Fukushima, Yasutaka Kidokoro, Takahiko Matsunaga, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Fabrication of Bioactive Glass Fiber Reinforced Polyamide with High Mechanical Performance by the Function of Apatite Nuclei", *Bioceramics*, Vol.28, pp.241-245, 2017.
- Takeshi Yabutsuka, Hiroto Mizutani, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Fabrication of Bioactive Cobalt-chromium Alloys by Incorporation of Apatite Nuclei", *Bioceramics*, Vol.28, pp.180-184, 2017.
- Takahiko Matsunaga, Takeshi Yabutsuka, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Fabrication of Hydroxyapatite Microcapsules for Controlled Release of Hydrophobic Drug", *Bioceramics*, Vol.28, pp.12-16, 2017.
- Yasutaka Kidokoro, Takeshi Yabutsuka, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Bioactivity Treatment to Zr metal and Ti-6Al-4V Alloy by the Function of Apatite Nuclei", *Bioceramics*, Vol.28, pp.175-179, 2017.
- Keito Fukushima, Takeshi Yabutsuka, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Development of Bioactive PEEK by the Function of Apatite Nuclei", *Bioceramics*, Vol.27, pp.145-150, 2016.
- Hiroto Mizutani, Takeshi Yabutsuka, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Fabrication of Bone-like Apatite-Phosphatidylcholine Composite Thin Film by Biomimetic Method", *Bioceramics*, Vol.27, pp.40-44, 2016.
- Takeshi Yabutsuka, Shun Kumazawa, Daiki Hisashuku, Hiroto Mizutani, Keito Fukushima, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Enzyme Immobilization by Using Apatite Microcapsules with Magnetic Properties", *Bioceramics*, Vol.27, pp.259-264, 2016.
- Taichi Iwai, Daishi Kitajima, Shigeomi Takai, Takeshi Yabutsuka, Takeshi Yao, " α -PbO₂ formation on the cathode of Lead Acid Battery due to the Local Cell Reaction", *Journal of Electrochemical Society*, Vol.163, pp.3087-3090, 2016.
- Takeshi Yabutsuka, Ryoki Karashima, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Fabrication of Bioactive Stainless Steel by the Function of Apatite Nuclei", *Bioceramics*, Vol.27, pp.151-156, 2016.
- Shigeomi Takai, Yuya Morishita, Yuta Kondo, Takeshi Yao, Takeshi Yabutsuka, Takao Esaka, "Electrochemical Properties of Cs-substituted CaWO₄ and BaWO₄ Oxide Ion Conductors", *Journal of the Ceramic Society of Japan*, Vol.124, pp.819-822, 2016.
- Keisuke Yamada, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, Takeshi Yabutsuka, "Relaxation Analysis of LiNi_{0.5}Mn_{1.5}O₄ 5V Cathode Material by means of the Rietveld Refinement", *Electrochemistry*, Vol.84, pp.808-811, 2016.
- Takeshi Yabutsuka, Ryoki Karashima, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Effects of Sandblasting Conditions in Preparation of Bioactive Stainless Steels by the Function of Apatite Nuclei", *Phosphorous Research Bulletin*, Vol.31, pp.15-19, 2016.

- Hiroki Nakamura, Takeshi Yabutsuka, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "The Effects of SBF Conditions on Encapsulation of Agarose Gel with Hydroxyapatite Microcapsules", Phosphorous Research Bulletin, Vol.31, pp.9-14, 2016.
- Keito Fukushima, Takeshi Yabutsuka, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Investigation of Effective Procedures in Fabrication of Bioactive PEEK Using the Function of Apatite Nuclei", Phosphorous Research Bulletin, Vol.31, pp.31-37, 2016.
- Harunobu Oonishi, Shigeomi Takai, Takeshi Yabutsuka, Takeshi Yao, "Synthesis and Electrochemical Properties of LATP-LLTO Lithium Ion Conductive Composites", Electrochemistry, Vol.84, pp.967-970, 2016.

②学会発表

・国際会議

- Takeshi Yabutsuka, Keito Fukushima, Yasutaka Kidokoro, Takahiko Matsunaga, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Bioactive Treatment to Fiber Reinforced Polyamide with High Mechanical Performance", The 28th Symposium & Annual Meeting of the International Society for Ceramics in Medicine, 2016.10.18-20, Omni Charlotte Hotel, (Charlotte, N.C., USA).
- Takahiko Matsunaga, Takeshi Yabutsuka, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Fabrication of Hydroxyapatite Microcapsules for Controlled Release of Hydrophobic Drug", The 28th Symposium & Annual Meeting of the International Society for Ceramics in Medicine, 2016.10.18, Omni Charlotte Hotel, (Charlotte, N.C., USA).
- Takeshi Yabutsuka, Hiroto Mizutani, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Fabrication of Bioactive Co-Cr Alloy by the Function of Apatite Nuclei" The 28th Symposium & Annual Meeting of the International Society for Ceramics in Medicine, 2016.10.20, Omni Charlotte Hotel, (Charlotte, N.C., USA).
- Yasutaka Kidokoro, Takeshi Yabutsuka, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Bioactive Treatment of Zirconium and Ti-6Al-4V Alloy by the Function of Apatite Nuclei" The 28th Symposium & Annual Meeting of the International Society for Ceramics in Medicine, 2016.10.20, Omni Charlotte Hotel, (Charlotte, N.C., USA).
- Takeshi Yabutsuka, Keito Fukushima, Yasutaka Kidokoro, Takahiko Matsunaga, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Fabrication of Bioactive Fiber Reinforced PEEK by the Function of Apatite Nuclei" The 28th Symposium & Annual Meeting of the International Society for Ceramics in Medicine, 2016.10.20, Omni Charlotte Hotel, (Charlotte, N.C., USA).
- Souki Kaji, Shigeomi Takai, Takeshi Yabutsuka, Takeshi Yao, "High Temperature Oxide Ion Conduction Path for $Pb_{1-x}La_xWO_{4+x/2}$ ", Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid-State Science (PRiME 2016), 2016.10.04, Hawaii Convention Center & Hilton Hawaiian Village, (Honolulu, H.I., USA).
- Yun-Wen Liao, Shigeomi Takai, Takeshi Yabutsuka, Wen-Jauh Chen, Takeshi Yao, "Electrical and Structural Properties of Bi-Substituted $La_2Mo_2O_9$ Annealed at Intermediate Temperature", Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid-State Science (PRiME 2016), 2016.10.04, Hawaii Convention Center & Hilton Hawaiian Village, (Honolulu, H.I., USA).
- Shigeomi Takai, Akihiro Tamura, Souki Kaji, Takeshi Yabutsuka, Takeshi Yao, "Difference of Relaxation Behavior Between $LiNiO_2$ and $Li(Ni, Co, Al)O_2$ after Lithium Extraction", Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid-State Science (PRiME 2016), 2016.10.05, Hawaii Convention Center & Hilton Hawaiian Village, (Honolulu, H.I., USA).

- Masashi Yamamoto, Hiroshi Okano, Keisuke Yamada, Shigeomi Takai, Takeshi Yabutsuka, Takeshi Yao, "Relaxation Analysis of Electrochemically Lithium Inserted γ -Fe₂O₃ By Using a Solid-State Li NMR", Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid-State Science (PRiME 2016), 2016.10.05, Hawaii Convention Center & Hilton Hawaiian Village, (Honolulu, H.I., USA).
- Tomoki Endo, Hiroshi Okano, Takashi Kitamura, Shigeomi Takai, Takeshi Yabutsuka, Takeshi Yao, "Lattice Energy Calculation for Li Inserted Graphite at Relaxation Process", Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid-State Science (PRiME 2016), 2016.10.05, Hawaii Convention Center & Hilton Hawaiian Village, (Honolulu, H.I., USA).
- Takeshi Yabutsuka, Keito Fukushima, Tomoko Hiruta, Yasutaka Kidokoro, Takahiko Matsunaga, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Bioactivity Treatment to Polyetheretherketone by the Function of Apatite Nuclei", The 9th International Symposium on Inorganic Phosphate Materials, 2016.09.26, Tokyo Metropolitan University, (Tokyo, Japan).
- Takahiko Matsunaga, Takeshi Yabutsuka, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Encapsulation of Hydrophobic Drug in Hydroxyapatite Microcapsules by Using Apatite Nuclei", The 9th International Symposium on Inorganic Phosphate Materials, 2016.09.27, Tokyo Metropolitan University, (Tokyo, Japan).
- Yasutaka Kidokoro, Takeshi Yabutsuka, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Development of Bioactive Zirconium by the Function of Apatite Nuclei", The 9th International Symposium on Inorganic Phosphate Materials, 2016.09.27, Tokyo Metropolitan University, (Tokyo, Japan).
- Keisuke Yamada, Shigeomi Takai, Takeshi Yabutsuka, Takeshi Yao, "Rietveld Relaxation Analysis on Li_xNi_{0.5}Mn_{1.5}O (x=0.1, 0.2) 5V Cathode Material", 229th ECS Meeting, 2016.05.31, Hilton San Diego Bayfront & San Diego Convention Center, (San Diego, C.A., USA).
- Taichi Iwai, Shigeomi Takai, Takeshi Yabutsuka, Takeshi Yao, "The Reduction of Beta-NiOOH on the cathode of Nickel Hydrogen Battery Due to the Local Cell Reaction", 229th ECS Meeting, 2016.06.01, Hilton San Diego Bayfront & San Diego Convention Center, (San Diego, C.A., USA).
- Takeshi Yabutsuka, Keito Fukushima, Hiroshi Mizuno, Shigeomi Takai, Takeshi Yao, "Preparation of Bioactive Polymeric Implant Materials by the Function of Apatite Nuclei", 10th World Biomaterials Congress (WBC2016), 2016.05.20, Palais des congres de Montreal, (Montreal, Quebec, Canada).

・国内会議

- 村上正和, 高井茂臣, 藪塚武史, 岩井太一, 八尾 健 「鉛蓄電池の局部電池反応によるインピーダンス変化」 電気化学会第84回大会, 2017.03.25, 首都大学東京 (東京).
- 鍛冶宗騎, 高井茂臣, 藪塚武史, 八尾 健 「酸化物イオン空孔型CaWO₄系酸化物イオン伝導体の高温中性子回折」 電気化学会第84回大会, 2017.03.26, 首都大学東京 (東京).
- 藪塚武史, 福島啓斗, 昼田智子, 高井茂臣, 八尾 健 「アパタイト核処理を行った繊維強化ポリアミドのアパタイト形成能」 日本セラミックス協会2017年年会, 2017.03.17, 日本大学 (東京).
- 昼田智子, 藪塚武史, 福島啓斗, 高井茂臣, 八尾 健 「アパタイト核処理による生体活性摺動グレードPEEKの開発」 日本セラミックス協会2017年年会, 2017.03.17, 日本大学 (東京).
- 高井茂臣, 藪塚武史, 八尾 健, 江坂享男 「PbWO₄系およびCaWO₄系酸化物イオン伝導体の欠陥構造とイオン伝導」 日本セラミックス協会2017年年会サテライトプログラム, 第3回構造科学と新物質探索研究会, 2017.03.17, 日本大学 (東京).
- 城所泰孝, 藪塚武史, 高井茂臣, 八尾 健 「アパタイト核処理を用いた生体活性ジルコニウムの作製およびアパタイト形成能の評価」 第20回生体関連セラミックス討論会, 2016.12.02, 大阪大学 (大阪).

- 藪塚武史, 福島啓斗, 昼田智子, 城所泰孝, 松永孝彦, 高井茂臣, 八尾 健 「アパタイト核処理による繊維強化PEEKへのアパタイト形成能の付与」 第20回生体関連セラミックス討論会, 2016.12.02, 大阪大学 (大阪).
- 松永孝彦, 藪塚武史, 高井茂臣, 八尾 健 「アパタイト核を用いたイブプロフェン内包アパタイトカプセルの作製および放出挙動評価」 第20回生体関連セラミックス討論会, 2016.12.02, 大阪大学 (大阪).
- 田和佳修, 高井茂臣, 藪塚武史, 八尾 健 「メカノケミカル処理を行ったLiMn₂O₄ 正極材料の緩和解析」 第57回電池討論会, 2016.11.29, 幕張メッセ 国際会議場 (千葉).
- 藪塚武史, 福島啓斗, 昼田智子, 城所泰孝, 松永孝彦, 高井茂臣, 八尾 健 「アパタイト核処理による生体活性繊維強化PEEKの開発」 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016, 2016.11.21, 福岡国際会議場 (福岡).
- 藪塚武史, 水谷浩人, 高井茂臣, 八尾 健 「アパタイト核処理による生体活性Co-Cr-Mo合金の開発」 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016, 2016.11.21, 福岡国際会議場 (福岡).
- 城所泰孝, 藪塚武史, 高井茂臣, 八尾 健 「アパタイト核処理による生体活性Ti-6Al-4V合金の開発」 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016, 2016.11.21, 福岡国際会議場 (福岡).
- 松永孝彦, 藪塚武史, 高井茂臣, 八尾 健 「イブプロフェン内包アパタイトカプセルの開発および放出挙動の評価」 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016, 2016.11.21, 福岡国際会議場 (福岡).

③図書

- 高井茂臣, 藪塚武史, 八尾健, 「全固体電池のイオン伝導性向上技術と材料, 製造プロセスの開発」, 第3章7節 「酸化物系固体電解質 LLZ-LLTO および LATP-LLTO コンポジットの合成とイオン伝導率向上」, (株)技術情報協会, (2017), pp.75-80 [ISBN: 978-4-86104-647-6]

④産業財産権

- 特許 1件出願 (2017)

○所属学会

Electrochemical Society, 電気化学会, 日本化学会, 日本セラミックス協会

(機械工学科)

岡田 憲司

○所属学会

公益社団法人日本材料学会

木原 茂文

②学会発表

・国内会議

- 多田羅悠, 高橋洋一, 木原茂文, 澁谷秀雄, 固定砥粒研磨時の平面度に及ぼす砥粒配列の影響, 砥粒加工学会 ATF2017, 2017年3月3日, ホテルプラザ勝川(愛知県).
- 吉田衛人, 木原茂文, 高橋洋一, 円管スピニング成形時の加工速度が割れに及ぼす影響, 日本設計工学会四国支部 平成28年度四国支部研究発表講演会, 2017年3月10日, 香川高専(高松市).

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 高橋洋一, 木原茂文, フローフォーミングを用いた自動車用部品のニアネットシェイプ成形, 香川高等専門学校シーズ発表会, 2016年9月21日, リーガホテルゼスト(高松市).

○所属学会

日本塑性加工学会, 粉体粉末冶金協会

岩田 弘

①雑誌論文

・査読有

- 須崎嘉文, 渡辺拓也, 山口堅三, 丸浩一, 岩田弘, F B Gを用いた超音波振動の音圧の測定, 材料試験技術, Vol.61, No.3, pp.74-77, 2016.

・査読無

- 高橋洋一, 岩田弘, 小島隆史, 競技用車両の燃費向上に関する研究—走行時の最適速度解析—, 香川高等専門学校研究紀要第7号(2016), pp.65~71.

②学会発表

・国内会議

- 岩田弘, 今井敏夫, 天井クレーン用防災機器の開発と加振実験, 日本材料試験技術協会「材料試験技術」, Vol.61, No.3, pp.37-40, 2016.
- 中黒裕規, 吉永慎一, 岩田弘, 高橋洋一, 小島隆史, 燃費競技車両向け制御システムの開発, H28SCIE 計測自動制御学会四国支部学術講演会(徳島大学), 2016.11.19, SO1-03.

- 岩田弘, 天井クレーンの防災機器開発, 四国テクノサイエンス研究会第114回研究会(愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター), 2016.12.12.
- 宮武颯一郎, 岩田弘, 橋本良夫, 傾斜分布ひずみFBG素子と変位センサへの提供に関する研究, 日本設計工学会四国支部平成28年度研究発表講演会論文集, 2017-03-10, pp.27-32.
- 橋本優一郎, 橋本良夫, 岩田弘, 一定速度で引き込まれる平板の有限要素振動解析, 日本設計工学会四国支部平成28年度研究発表講演会論文集, 2017-03-10, pp.23-24.

④産業財産権

- 構造物の設置方法および吊り下げ用器具, 発明者(今井敏夫, 岩田弘), 権利者(株式会社今井鉄工所, 独立行政法人国立高等専門学校機構), 特許, 出願:平成28年12月27日, 国内.

○所属学会

日本機械学会, 日本設計工学会, 日本光学会

橋本 良夫

②学会発表

・国内会議

- 橋本優一郎, 橋本良夫, 岩田弘, 一定速度で引き込まれる平板の有限要素振動解析, 日本設計工学会四国支部平成28年度研究発表講演会, 平成29年3月10日, 香川高専高松キャンパス(高松市).
- 宮武颯一郎, 岩田弘, 橋本良夫, 傾斜分布ひずみFBG素子と変位センサへの提供に関する研究, 日本設計工学会四国支部平成28年度研究発表講演会, 平成29年3月10日, 香川高専高松キャンパス(高松市).

○所属学会

日本機械学会, 日本航空宇宙学会, 日本計算工学会

山崎 容次郎

②学会発表

・国内会議

- 三井 康平, 一見 直人, 滝 康嘉, 山崎 容次郎, “トマト収穫ロボットのシステム構築と単眼カメラ法による距離推定”, 電気学会 電子・情報・システム部門(C部門)2017 制御研究会, CT-17-038, 2017.03.25, 愛媛大学(愛媛).
- 大住 康貴, 平井 裕貴, 滝 康嘉, 逸見 知弘, 山崎 容次郎, “一人で操作きる文楽ロボットの開発”, 電気学会 電子・情報・システム部門(C部門)2017 制御研究会, CT-17-037, 2017.03.25, 愛媛大学(愛媛).

- 三井 康平, 一見 直人, 滝 康嘉, 山崎 容次郎, “トマト収穫ロボットの開発と単眼カメラ法による距離推定”, 日本機械学会中国四国学生会第 47 回学生員卒業研究発表講演会, 講演 No. 1103, CD-ROM, 2017.03.06, 広島工業大学 (広島).
- 大住 康貴, 平井 裕貴, 滝 康嘉, 逸見 知弘, 山崎 容次郎, “1 人で操作できる文楽ロボットの提案”, 日本機械学会中国四国学生会第 47 回学生員卒業研究発表講演会, 講演 No. 1004, CD-ROM, 2017.03.06, 広島工業大学 (広島).
- 柏原 斉佳, 滝 康嘉, 逸見 知弘, 山崎 容次郎, “下水道管の検査に適した自走型検査ロボットの開発”, 日本機械学会中国四国学生会第 47 回学生員卒業研究発表講演会, 講演 No. 1013, CD-ROM, 2017.03.06, 広島工業大学 (広島).
- 山崎 容次郎, 滝 康嘉, 三井 康平, 一見 直人, “人の指の動きを考慮した仕事制御を用いたトマト収穫ロボットの運動制御の検討”, 平成 28 年度 電気学会 電子・情報・システム部門大会, TC10-6, CD-ROM, 2016.09.01, 神戸大学 (兵庫).

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 山崎 容次郎, 小野 真二, “AL 技法を用いた機械工学実験の活性化”, 香川高専 平成 28 年度教育実践事例報告会, pp.8-10, 2016.11.29, 香川高専 (香川).

○所属学会

日本機械学会, 日本ロボット学会, 計測自動制御学会, IEEE, 農業食料工学会, 電気学会

小島 隆史

①雑誌論文

・査読無

- 高橋洋一, 岩田弘, 小島隆史, “競技用車両の燃費向上に関する研究—走行時の最適速度解析—”, 香川高等専門学校研究紀要, 第 7 号 pp.65-69, 2016.6.

②学会発表

・国内会議

- 中黒裕規, 吉永慎一, 岩田弘, 高橋洋一, 小島隆史, “燃費競技車両向け制御システムの開発”, 計測自動制御学会四国支部学術講演会, SO1-03, 2016.11.

③図書

- 本江哲行, 久池井茂, 池田耕, 伊藤昌彦, 國峰寛司, 小島隆史, 小松崎俊彦, 田中嘉津彦, 森本喜隆, 吉野正信, 実教出版, Professional Engineer Library 工業力学, 2016, 全 208 頁.

○所属学会

日本機械学会, 自動車技術会, 日本燃焼学会

吉永 慎一

①雑誌論文

・査読有

- 井上昭, 逸見知弘, 吉永慎一, Mingcong Deng:入力項に無駄時間のある系の出力追従誤差の最小化, 電気学会論文誌 C 電子情報システム部門, Vol.137, No.1, pp.54-59, 2016.

②学会発表

・国際会議

- Tomohiro Henmi, Akira Inoue, Mingcong Deng and Sin-ichi Yoshinaga: Early Detection of Plant Faults by Using Machine Learning, Proc. of 2016 International Conference on Advanced Mechatronic Systems, ThuP04-03, Melbourne, 2016.11.30-12.3.

・国内会議

- 井上昭, Mingcong Deng, 逸見知弘, 吉永慎一: 機械学習によるプラント故障の早期検出, 電気学会電子・情報・システム部門 制御研究会, テーマ「安全制御・故障診断」, CT-16-063, 2016年7月9日, 岡山大学(岡山).
- 中黒裕規, 吉永慎一, 岩田弘, 高橋洋一, 小島隆史: 燃費競技車両向け制御システムの開発, 計測自動制御学会四国支部学術講演会(徳島) 2016.11.

○所属学会

計測自動制御学会, システム制御情報学会, 日本機械学会

上代 良文

①雑誌論文

・査読有

- Yoshifumi Jodai and Gerrit E. Elsinga: “Experimental observation of hairpin auto-generation events in a turbulent boundary layer”, *Journal of Fluid Mechanics*, Vol. 795, pp. 611-633, printed on 25 May, 2016.

②学会発表

・国際会議

- Manu V. Goudar, Wim-Paul Breugem, Yoshifumi Jodai and Gerrit E Elsinga: “Auto-generation by interacion of weak eddies”, *Book of Papers on the 24th International Congress of Theoretical and Applied Mechanics (ICTAM 2016)*, pp. 1508-1509, August 21-26, 2016 (Montreal, Canada).

・国内会議

- 石尾卓也, 上代良文: “平板後縁近傍乱流境界層のコルモゴロフ複雑度”, 日本機械学会中国四国学生会第47回学生員卒業研究発表講演会講演前刷集, 410 (2 pages), 2017.3.6 (広島工業大学, 広島市).
- 上代良文: “流路分割板が平板乱流後流の発達に及ぼす影響”, 第5回流体研究会, 講演前刷, 2ページ, 2016.12.10 (二葉公民館, 広島).

- 上代良文, 一宮昌司 (徳島大学), 森上泰行 (東北大学) : “波状分割板が平板乱流後流の三次元特性に与える影響”, 日本機械学会第94期流体力学部門講演会, 講演論文集, 2ページ, 2016.11.13 (山口大学, 宇部)
- 上代良文 : “香川高専における流体力学にかかわる教育と研究”, 平成28年度全国高専フォーラム (オーガナイズドセッション「流体エネルギー利用技術を活用した外部資金獲得を目指して」), 講演前刷, 2ページ, 2016.8.25 (岡山大学, 岡山).
- 上代良文 : “ダブルジェットプラズマアクチュエータが平板後流に及ぼす影響”, 第4回流体研究会, 講演前刷, 2ページ, 2016.8.7 (二葉公民館, 広島).

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

・学会企画運営

- 上代良文 : “日本機械学会流体力学部門主催「第22回流れのふしぎ展」実施報告書”, 2016.9.8 掲載: <http://www.jsme-fed.org/contests/fushigi.html>, 2016.8.11-12 (日本科学未来館, 東京).

○所属学会

日本機械学会, 日本航空宇宙学会, 日本流体力学会 (中四国・九州支部会幹事), 可視化情報学会

伊藤 勉

① 雑誌論文

・査読有

- **Tsutomu ITO**, and Takashi MIZUGUCHI: “Superplastic Elongation Through Deformation Mechanism Transition During High-Temperature Deformation in Thermally Unstable Fine-Grained Aluminum Solid Solution Alloy”, Key Engineering Materials, Vol. 723, (2017), pp. 21-26. [doi:10.4028/www.scientific.net/KEM.723.21]
- Takashi MIZUGUCHI, Kento IKEDA, Naoki KARASAWA, and **Tsutomu ITO** : “Effects of Temperature and Strain Rate on Deformation Twinning Behavior in Polycrystalline Fe-5wt%Si Alloy”, Proceedings of Ninth Pacific Rim International Conference on Advanced Materials and Processing (PRICM9), (2016), pp. 291- 294.
- **Tsutomu ITO**, Gaku SAITO, Naotaka UEHIGASHI, and Hisashi MORI: “Mechanical Properties of a Flame-Resistant Mg Alloy as a Next-Generation Transportation Structural Material”, Energy Procedia, Vol. 89, (2016), pp. 6-14. [doi: 10.1016/j.egypro.2016.05.002]

・査読無

- Kazutaka MUKOYAMA, Kosu HANAKI, Kenji OKADA, Akiyoshi SAKAIDA, Yuki NAKAMURA, **Tsutomu ITO**, Jun TAKAHASHI, Masao NAKAGAWA, Takashi MATSUMURA, and Tatsuo SAKAI: “Statistical Estimation of S-N Curves for Structural Steel based on Their Static Mechanical Properties”, Proceedings of 29th Japan Society of Materials Science (JSMS) Symposium on Reliability Engineering International Workshop <Statistical Aspect on Fatigue Strength of Metallic Materials>, Eds. by Japan Society of Materials Science (JSMS) Committee on Reliability Engineering, (2016), 6 Pages.

- **伊藤勉**, 吉村英徳：“極薄冷間圧延鋼板への摩擦熱を利用した固相接合の検討”, 溶接技術, 第64巻 第8号, (2016), pp. 100-101. [<http://www.sanpo-pub.co.jp/yg01/2016/0720019312.html>]

② 学会発表

・ 国際会議

- Kazutaka MUKOYAMA, Kosshu HANAKI, Kenji OKADA, Akiyoshi SAKAIDA, Yuki NAKAMURA, **Tsutomu ITO**, Jun TAKAHASHI, Masao NAKAGAWA, Takashi MATSUMURA, and Tatsuo SAKAI: “Statistical Estimation of S-N Curves for Structural Steel based on Their Static Mechanical Properties”, 29th Japan Society of Materials Science (JSMS) Symposium on Reliability Engineering International Workshop <Statistical Aspect on Fatigue Strength of Metallic Materials>, Morito Memorial Hall, Tokyo University of Science, Tokyo, Japan, 15 December 2016.
- **[Invited] Tsutomu ITO**, Kentaro KAWASAKI, and Takashi MIZUGUCHI, “Effects of Second-Phase Particles for High-Temperature Ductility of the Clad-I-Type Aluminum Solid-Solution Alloys”, 13th Eco-Energy and Materials Science and Engineering Symposium (EMSES2016), Centara Hotel & Convention Centre Udon Thani, Udon Thani, Thailand, 2 December 2016.
- **Tsutomu ITO**, Tomonori KITASHIMA, and Yoko YAMABE-MITARAI: “Creep Properties of Near- α Titanium Alloys Consisting of Acicular Microstructure”, National Institute for Materials Science (NIMS) WEEK 2016, Tokyo International Forum, Tokyo, JAPAN, 20 October 2016.
- Takashi MIZUGUCHI, Kento IKEDA, Naoki KARASAWA, and **Tsutomu ITO**: “Effects of Temperature and Strain Rate on Deformation Twinning Behavior in Polycrystalline Fe-5wt%Si Alloy”, Proceedings of Ninth Pacific Rim International Conference on Advanced Materials and Processing (PRICM9), Kyoto International Conference Center (ICC Kyoto), Kyoto, Japan, 4 August 2016.
- **Tsutomu ITO**, and Takashi MIZUGUCHI: “Superplastic Elongation through Deformation Mechanism Transition during High-Temperature Deformation in Thermally Unstable Fine-Grained Aluminum Solid Solution Alloy”, 2016 International Conference on Materials Science and Engineering (2016 ICMSE), Paco Business Hotel, Guangzhou, China, 25 June 2016.
- **Tsutomu ITO**, Kentaro KAWASAKI, Takashi MIZUGUCHI, and Tomoyuki HOMMA: “High Temperature Deformation Mechanism in Al-Mg Solid Solution Alloys Including Small Amount Second Phase Particles”, 15th International Conference on Aluminum Alloys (ICAA15), Holiday Inn Chongqing University Town, Chongqing, China, 16 June 2016.

・ 国内会議

- **伊藤勉**, 北嶋具教, 御手洗容子: “ニア α 型 Ti 合金のクリープ速度におよぼすマイクロ組織サイズの影響”, (公社) 日本金属学会 2017 年春期 (第 160 回) 講演大会, 首都大学東京 南大沢キャンパス, 東京都八王子市, 2017 年 3 月 16 日.
- 北嶋具教, 萩原益夫, **伊藤勉**, 御手洗容子, 岩崎智: “高 Al 当量チタン合金における Ga と Zr のクリープ特性への影響”, (公社) 日本金属学会 2017 年春期 (第 160 回) 講演大会, 首都大学東京 南大沢キャンパス, 東京都八王子市, 2017 年 3 月 15 日.

- 南龍之介, 松永紗英, 北嶋具教, **伊藤勉**, 大村孝仁, 芹澤愛, 御手洗容子: “Ti-Al-Mo 合金の組織と力学特性”, (公社) 日本金属学会 2017 年春期 (第 160 回) 講演大会, 首都大学東京 南大沢キャンパス, 東京都八王子市, 2017 年 3 月 15 日.
- 島上溪, 松永紗英, 北嶋具教, **伊藤勉**, 湯本淳史, 御手洗容子: “耐熱チタン合金の高温強度に対する α_2 相の大きさによる影響”, (公社) 日本金属学会 2017 年春期 (第 160 回) 講演大会, 首都大学東京 南大沢キャンパス, 東京都八王子市, 2017 年 3 月 15 日.
- **伊藤勉**, 水口隆: “熱的に不安定な微細結晶粒 Al-Mg 固溶体合金における変形機構の遷移による巨大伸び”, 第 161 回 超塑性研究会, (株) 総合車両製作所, 神奈川県横浜市, 2017 年 2 月 23 日.
- **伊藤勉**, 岡田憲司, 酒井達雄: “アルミニウム casting 材 (ADC12) に対する疲労試験結果<中間報告>”, (公社) 日本材料学会 疲労部門委員会 第 9 回 超高サイクル疲労研究分科会, 立命館大学 大阪梅田キャンパス, 大阪府梅田市, 2017 年 1 月 28 日.
- **伊藤勉**, 北嶋具教, 御手洗容子: “ニア α 型 Ti-Al-Zr-Mo-Nb-Si 合金の力学特性”, (一社) 日本機械学会 第 24 回 機械材料・材料加工技術講演会 (M&P2016), 早稲田大学国際会議場, 東京都新宿区, 2016 年 11 月 25 日.
- 齋藤楽, **伊藤勉**, 上東直孝, 森久史: “難燃性マグネシウム合金 AZX611 の高温力学特性”, (一社) 軽金属学会 第 131 回 秋期大会, 茨城大学水戸キャンパス, 茨城県水戸市, 2016 年 11 月 5 日.
- 福井貴大, **伊藤勉**: “放電プラズマ焼結による Ti_3Al の力学特性”, (一社) 軽金属学会 第 131 回 秋期大会, 茨城大学水戸キャンパス, 茨城県水戸市, 2016 年 11 月 5 日.
- 水口隆, **伊藤勉**, 木村耕太, 栗坂登紀子: “粒界すべりと溶質雰囲気ひきずり機構の重畳による Al-Mg 合金の高温延性の向上”, (一社) 軽金属学会 第 131 回 秋期大会, 茨城大学水戸キャンパス, 茨城県水戸市, 2016 年 11 月 6 日.
- **伊藤勉**, 北嶋具教, 御手洗容子: “チタン合金のクリープ特性におよぼすマイクロ組織の影響”, 第 3 回 NIMS 構造材料研究拠点シンポジウム, 物質・材料研究機構, 茨城県つくば市, 2016 年 9 月 28 日.
- 北嶋具教, 御手洗容子, 萩原益夫, **伊藤勉**, S. Gangolu, 戸田佳明: “ニア α チタン合金のクリープ特性及び引張特性とそれらの予測”, (公社) 日本金属学会 2016 年秋期 (第 159 回) 講演大会, 大阪大学豊中キャンパス, 大阪府豊中市, 2016 年 9 月 22 日.
- **伊藤勉**, 北嶋具教, 御手洗容子: “Ti-Al-Zr-Mo-Nb-Si 合金のクリープ特性”, (公社) 日本金属学会 2016 年秋期 (第 159 回) 講演大会, 大阪大学豊中キャンパス, 大阪府豊中市, 2016 年 9 月 22 日.
- **伊藤勉**, 北嶋具教, 御手洗容子: “針状組織からなる Ti-Al-Zr-Mo-Nb-Si 合金のクリープ特性”, (公社) 日本金属学会 高温変形の組織ダイナミクス研究会 平成 28 年度 夏の学校, 文部科学省共済組合箱根宿泊所 四季の湯 強羅静雲荘, 神奈川県足柄下郡箱根町, 2016 年 8 月 30 日.
- 向山和孝, 花木宏修, 中村裕紀, 境田彰芳, 岡田憲司, **伊藤勉**, 菅田淳, 酒井達雄: “アルミ合金を対象とした静的強度特性値による $S-N$ 曲線の統計的推定”, (公社) 日本材料学会 第 65 期学術講演会, 富山大学五福キャンパス, 富山県富山市, 2016 年 5 月 29 日.

- **伊藤勉**, 岡田憲司, 小野坂若樹, 境田彰芳, 向山和孝, 花木宏修, 中村裕紀, 菅田淳, 坂井達雄: “高強度鋼を対象にした静的強度特性値による $S - N$ 曲線の統計的推計”, (公社) 日本材料学会 第 65 期学術講演会, 富山大学五福キャンパス, 富山県富山市, 2016 年 5 月 29 日.
- 福井貴大, **伊藤勉**: “放電プラズマ焼結による純 Ti および Ti_3Al の焼結特性”, (一社) 軽金属学会 第 130 回 春期大会, 大阪大学吹田キャンパス, 大阪府吹田市, 2016 年 5 月 28 日.
- 齋藤楽, **伊藤勉**, 上東直孝, 森久史: “難燃性マグネシウム合金 AZX611 における高温変形機構”, (一社) 軽金属学会 第 130 回 春期大会, 大阪大学吹田キャンパス, 大阪府吹田市, 2016 年 5 月 28 日.
- 水口隆, 池田健人, **伊藤勉**: “Fe-Si 合金の変形双晶発生におよぼす温度とひずみ速度の影響”, (公社) 日本材料学会 四国支部 第 14 回学術講演会, 愛媛大学工学部, 愛媛県松山市, 2016 年 4 月 23 日.

⑤ その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

・受賞

- 齋藤楽: “難燃性マグネシウム合金の高温力学特性”, 平成 28 年度 軽金属希望の星賞, (一社) 軽金属学会, 2017 年 1 月 31 日.

○所属学会

一般社団法人 軽金属学会, 公益社団法人 日本金属学会, 一般社団法人 溶接学会,
 一般社団法人 日本塑性加工学会, 超塑性研究会, 一般社団法人 日本機械学会,
 公益社団法人 日本材料学会, 一般社団法人 軽金属溶接協会, 一般社団法人 日本マグネシウム協会
 The Minerals, Metals and Materials Society; TMS (USA), American Society for Metals; ASM (USA),
 The Insititute of Materials; IOM (UK)

高橋 洋一

①雑誌論文

・査読無

- 高橋洋一, 岩田弘, 小島隆史, 競技用車両の燃費向上に関する研究—走行時の最適速度解析—, 香川高等専門学校研究紀要, 第 7 号, (2016), Page 65-69.

②学会発表

・国内会議

- 中黒裕規, 吉永慎一, 岩田弘, 高橋洋一, 小島隆史, 燃費競技車両向け制御システムの開発, 平成 28 年度計測自動制御学会四国支部学術講演会, 2016 年 11 月 19 日, 徳島大学 (徳島県).
- 多田羅悠, 高橋洋一, 木原茂文, 澁谷秀雄, 固定砥粒研磨時の平面度に及ぼす砥粒配列の影響 砥粒加工学会 ATF2017, 2017 年 3 月 3 日, ホテルプラザ勝川 (愛知県).
- 吉田衛人, 木原茂文, 高橋洋一, 円管スピニング成形時の加工速度が割れに及ぼす影響, 日本設計工学会四国支部, 平成 28 年度四国支部研究発表講演会, 2017 年 3 月 10 日, 香川高専 (高松市).

⑤その他（受賞，報道，書籍投稿など）

- 高橋洋一，木原茂文，フローフォーミングを用いた自動車用部品のニアネットシェイプ成形，香川高等専門学校シーズ発表会，2016年9月21日，リーガホテルゼスト（高松市）。
- 平成29年3月11日，四国新聞，Page 21，「香川高専とFUJIDAN 遠隔操縦飛行機を開発」。

○所属学会

日本塑性加工学会，砥粒加工学会，日本機械学会，精密工学会

(電気情報工学科)

本田 道隆

○所属学会

日本放射線技術学会, 医用画像情報学会, 日本画像工学会

鹿間 共一

①雑誌論文

・査読有

- Masashi Yamamoto, Hironobu Umemoto, Keisuke Ohdaira, Tomokazu Shikama, Takashi Nishiyama, Hideo Horibe:”Oxygen Additive Amount Dependence of the Photoresist Removal Rate by H Radicals Generated on a Tungsten Hot-Wire Catalyst“, Japanese Journal of Applied Physics, Vol. 55, No.7, (2016), Article ID: 076503.

②学会発表

・国際会議

- Erina Mori, Tomokazu Shikama:” Effect of O2 gas flow rate and RF power on Zinc oxide films made by the atmospheric pressure cold plasma method”, 6th INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON TECHNOLOGY FOR SUSTAINABILITY, 6 October 2016.

○所属学会

応用物理学会, 電子情報通信学会

重田 和弘

②学会発表

・国内会議

- 十河憲章, 重田和弘: ユーザの好む速度で提示可能なアニメーション提示システムの検討, 電子情報通信学会技術研究報告 Vol.116, No.517, ET2016-95, pp.7-12, 2017年3月10日, 新居浜高専(愛媛県新居浜市).
- 岡本真由子, 村上幸一, 重田和弘: 農業従事者向け音声対話システムの提案, 電子情報通信学会技術研究報告 Vol.116, No.488, LOIS2016-91, pp.163-166, 2017年3月3日, 大濱信泉記念館(沖縄県石垣市).
- 武市和也, 重田和弘, 柏原考爾: 道路上の錯視ペイントによる速度抑制の効果, 平成28年度電気関係学会四国支部連合大会, 13-25, 2016年9月17日, 徳島大学(徳島県徳島市).
- 十河憲章, 重田和弘: ユーザの好みの速度で提示可能なアニメーション提示システムの提案, 第15回情報科学技術フォーラム, K-006, 2016年9月7日, 富山大学(富山県富山市).

- 岡本真由子, 村上幸一, 重田和弘: 農作物の収穫予測のための長期気象予測手法に関する検討, 農業情報学会 2016 年度年次大会, 個-13, pp.39-40, 2016 年 5 月 19 日, 東京大学 (東京都) .

○所属学会

電子情報通信学会, 日本教育工学会, 映像情報メディア学会, 情報処理学会, 教育システム情報学会, IEEE

辻 正敏

①雑誌論文

・査読有

- 西岡 裕馬, 辻 正敏; “揺れ指数を用いた低速移動ターゲット検知マイクロ波防犯センサ,” 電子情報通信学会論文誌 B, Vol.J100-B, No.3, pp.304 -306, Mar. 2017.
- 鈴木 雅敏, 辻 正敏; “バラクタダイオードを用いたレクテナ用自動整合回路の開発,” 電子情報通信学会論文誌 B, Vol.J99-B, No.9, pp.806 -809, Sep. 2016.

○所属学会

電子情報通信学会, 電気学会

漆原 史朗

②学会発表

・国内会議

- 児島 昂, 漆原史朗: 「推定負荷情報を用いた 2 自由度位置決めシステムの応答特性」, 電気学会産業応用部門大会, Y-8, 2016 年 9 月.

○所属学会

IEEE, 電気学会, 機械学会, 計測自動制御学会

太良尾 浩生

①雑誌論文

・査読有

- K. Aga, H. Tarao, and S. Urushihara, "Numerical Calculations of Internal Human Body Resistance at Power Frequency", Energy Procedia (Elsevier) Vol.89, pp.401-407, 2016.
(<http://www.sciencedirect.com/science/journal/18766102/89/supp/C>)

- H. Taro, H. Miyamoto, L. Korpinen, N. Hayashi, and K. Isaka, "Simple Estimation of Induced Electric Fields in Nervous System Tissues for Human Exposure to Non-Uniform Electric Fields at Power Frequency", *Physics in Medicine and Biology*, Vol.61, No.12, pp.4438-4451, 2016.
(<https://doi.org/10.1088/0031-9155/61/12/4438>)

②学会発表

・国際会議

- Hiroo Taro, Noriyuki Hayashi, Leena Korpinen, and Katsuo Isaka, "Measurements of Leakage Magnetic Fields from Induction Heating Range Using Different Sized Pans", *The 37th Progress In Electromagnetics Research Symposium (PIERS)*, Shanghai, pp.2937-2939, 2016.
(<http://ieeexplore.ieee.org/xpl/tocresult.jsp?isnumber=7734201>)
- Rauno Paakkonen, Leena Korpinen, Hiroo Taro, Fabriziomaria Gobba, "Possibilities to decrease the electric field exposure with a shield over worker under the 400 kV power lines" *The 37th Progress In Electromagnetics Research Symposium (PIERS)*, Shanghai, pp.2934-2936, 2016.
- Herkko Pirkkalainen, Leena Korpinen, Hiroo Taro, Timo Heiskanen, Mika Penttila, Jarmo Elovaara, "Comparison of the extremely low-frequency electric field meters at 400 kV and 220 kV substations" *The 37th Progress In Electromagnetics Research Symposium (PIERS)*, Shanghai, pp.2931-2933, 2016.
- Leena Korpinen, Rauno Paakkonen, Lourdes Farrugia, Hiroo Taro, and Fabriziomaria Gobba, "Directive 2013/35/EU for electromagnetic fields of workers' exposure and working from the ladder near a 400 kV power line", *The 37th Progress In Electromagnetics Research Symposium (PIERS)*, Shanghai, pp.2106-2108, 2016.
- Rauno Paakkonen, Lourdes Farrugia, Hiroo Taro, Fabriziomaria Gobba, and Leena Korpinen, "Possibilities to decrease the extremely low-frequency electric field exposure with a Faraday cage under a 400 kV power line", *The 37th Progress In Electromagnetics Research Symposium (PIERS)*, Shanghai, pp.2109-2112, 2016.
- Hiroo Taro, Hiromichi Yumoto, Toshihiko Tominaga, Masatake Akutagawa, Takahiro Emoto, Toshitaka Ikehara, and Yohsuke Kinouchi, "Current Distribution Around Lesions Due to Apical Periodontitis by Applying 500-kHz Current Across Electrodes", *BioEM2016*, Ghent, PB-44, 2016.

・国内会議

- 桑野・太良尾・林：「電磁調理器からの漏れ磁界による体内誘導電界の解析—鍋のサイズによる影響—」，平成28年電気学会A部門大会，5-P-21，（北九州市）2016.
- 宮本・太良尾・林・伊坂：「平等電界内における挙上した人体数値モデルの体内誘導電界解析」，平成28年電気学会A部門大会，5-P-22，（北九州市）2016.

○所属学会

電気学会，電気設備学会

村上 幸一

①雑誌論文

・ 査読有

- 高田拓, 若林誠, 村上幸一, 今井一雅, 益岡葵, 上田真也, ” 宇宙人材教育のための連動型「缶サット講座・缶サット大会」の実施成果”, 工学教育誌, 2017年3月,
- Shinji Chiba, Kazuaki Shiraishi, Yukikazu Murakami, Susumu Yoshida, Tadashi Ishi, Kazuya Kanda, Takaharu Kameoka, Development and Nationwide Spread of a Low Cost ICT System in Agriculture by KOSEN Network, Transaction on GIGAKU 2016.

②学会発表

・ 国際会議

- Yukikazu Murakami, Mizuki Ando, Miyuu Miyamoto, Slamet Kristanto Tirto UTOMO, "Proposed of Automatic Collection System on FarmWork Recode by RFID", 2016 International Conference on Complex, Intelligent, and Software Intensive Systems (CISIS2016), July 6-th – July 8-th, 2016, Fukuoka Institute of Technology (FIT), Fukuoka, Japan, Reviewed.
- Shinji Chiba, Susumu Yoshida, Yukikazu Murakami, Shinichiro Hoshina, Kazuaki Shiraishi, Tadashi Ishi and Kazuya Kanda, "Development of a Meteorological Observation System Using Arduino by KOSEN Network", World Congress on Computers in Agriculture, Asia Federation for Information Technology in Agriculture 2016 (WCCA·AFITA 2016), June 21 (Tue.) ~ 24 (Fri.), 2016, Suncheon National University, Korea, Reviewed.

・ 国内会議

- 武田慎吾, 村上幸一, 峰友佑樹, 佐鳥 新, 伊藤那知, 中西 充, ” 光の反射スペクトルを用いた結球レタスの成分分析指標の探索”, 信学技報, vol. 116, no. 488, LOIS2016-92, pp. 167-171, 2017年3月3日.
- 岡本真由子, 村上幸一, 重田和弘, ” 農業従事者向け音声対話システムの提案”, 信学技報, vol. 116, no. 488, LOIS2016-91, pp. 163-166, 2017年3月3日.
- 三好健悟, 村上幸一, ” ニューラルネットワークを用いた収穫予測システムへの自動入力機能の実装”, 信学技報, vol. 116, no. 488, LOIS2016-90, pp. 157-162, 2017年3月3日.
- 今村元紀, マーク サヤン, 村上幸一, 安藤瑞希, ” RFIDを用いた農作業記録自動収集システムの実装”, 信学技報, vol.116, no.488, LOIS2016-89, pp. 153-155, 2017年3月3日.
- マーク サヤン, 村上幸一, 靄浩二, ” 第二言語による聴覚刺激時の脳波解析”, 電子情報通信学会, LOIS 研究会, 信学技報, vol.116, no.488, LOIS2016-71, pp. 53-55, 2017年3月2日.
- 大森裕二, 村上幸一, ” 植物工場における低カリウム野菜栽培の知識表出に関する研究”, 信学技報, vol.116, no. 405, LOIS2016-51, pp. 19-23, 2017年1月19日.
- 村上幸一, ” 植物工場における低カリウム野菜の非破壊全数検査手法に関する研究”, 香川高等専門学校シーズ発表会, リーガホテルゼスト高松, 2016年9月21日.

- 今井一雅, 北村健太郎, 高田拓, 若林誠, 浅井文男, 平社信人, 梶村好宏, 村上幸一, 篠原学, 島田雄, “Raspberry Pi Zero を用いた超小型衛星の OBC 開発とその宇宙人材育成への展開”, 第 60 回宇宙科学技術連合講演会・講演集 1, B06 (JSASS-2016-4021) 平成 28 年 9 月 6 日.
- 北村健太郎, 三浦靖一郎, 櫻本逸男, 池田光優, 村上幸一, 浅井文男, 若林誠, 梶村好宏, 平社信人, 篠原学, 高田拓, 今井一雅, “高専における超小型衛星開発の技術者教育への展開”, 第 60 回宇宙科学技術連合講演会・講演集 1, B07 (JSASS-2016-4022) 平成 28 年 9 月 6 日.
- 村上幸一, “模擬人工衛星“HEPTA”を用いた専攻科実験テーマの検討”, 平成 28 年度全国高専フォーラム, OS (教育) 16, 岡山大学, 2016 年 8 月 26 日.
- 村上幸一, 高専スペース連携, “衛星地上局と A 3 0 1 無線機を用いた CubeSat 通信系教育手法の検討”, 第 3 回小型衛星の教育利用を考える会, 京都市立京都工学院高等学校, 2016 年 8 月 24 日.
- 村上幸一, 山尾優, iFarm 利用説明会, 香川県農業試験場, 2016 年 6 月 17 日【招待講演】
岡本真由子, 村上幸一, 重田和弘, “農作物の収穫予測のための長期気象予測手法に関する検討”, 農業情報学会年次大会, 5 月 19 日, 2016.
- 大森裕二, 村上幸一, 佐鳥新, 伊藤那知, “ハイパースペクトルカメラを用いた露地作物の生産・品質管理システムの提案と自動撮影機能の検討”, 農業情報学会年次大会, 5 月 18 日, 2016.

④産業財産権

- 栽培契約マッチングシステム, サーバ, 方法およびプログラム, 特許査定, 国内 (2016 年 6 月).

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

・報道

- KSB スーパーJ チャンネル (KSB 瀬戸内海放送) 2016 年 5 月 3 日 「超小型人工衛星を組み立て」.
- RSK イブニングニュース (RSK 山陽放送テレビ) 2016 年 5 月 3 日 「香川高専マイクロ衛星作りの授業」.

・アウトリーチ活動

- (公開講座) “模擬人工衛星 (缶サット) の制作・打ち上げ講座”, 8 月 27 日, 小中学生対象.
- (サイエンスフェスタ) “模擬人工衛星 (缶サット) を作ろう”, 11 月 5・6 日, 小中学生対象.

○所属学会

電子情報通信学会, 農業情報学会, システム農学会

柿元 健

②学会発表

・国内会議

- 柿元健, 池内伸多朗, “類似性に基づく工数見積手法への偏差パターン類似度の適用,” 情報処理学会ウィンターワークショップ 2017・イン・飛騨高山 論文集, pp.37-38, January 2017 (岐阜県高山市) .
- 矢野博暉, 柿元健, “Analogy 手法における正規化方向による比較,” ソフトウェア工学の基礎 XX III, 日本ソフトウェア科学会 FOSE2016, pp.267-268, December 2016 (香川県仲多度郡) .

○所属学会

IEEE, 電子情報通信学会, 情報処理学会, 日本ソフトウェア科学会

雛元 洋一

②学会発表

・国際会議

- Y. Hinamoto and S. Nishimura :“Normal-form state-space realization of single frequency IIR notch filters and its application to adaptive notch filters”, 2016 IEEE Asia Pacific Conference on Circuits and Systems (APCCAS), Jeju, Korea, A1P-E-12, Oct. 2016.

・国内会議

- 雛元 洋一 : 「単一周波数 IIR ノッチフィルタの正規形状態空間実現とその適応ノッチフィルタへの応用」, 香川高専産業技術振興会 シーズ発表会, 2016年9月21日.

○所属学会

電子情報通信学会, IEEE

山本 雅史

①雑誌論文

・査読有

- M. Yamamoto, H. Umemoto, K. Ohdaira, T. Shikama, T. Nishiyama and H. Horibe, “Oxygen additive amount dependence of rate of photoresist removal by H radicals generated on a tungsten hot-wire catalyst”, *Jpn. J. Appl. Phys.*, 55(7), 076503/1-5 (2016).
- M. Yamamoto, H. Umemoto, K. Ohdaira, T. Shikama, T. Nishiyama and H. Horibe, “Enhancement of Removal Uniformity by Oxygen Addition in Photoresist Removal Using Hydrogen Radical Generated on Tungsten Hot-Wire Catalyst”, *J. Photopolym. Sci. Technol.*, 29(2), 639-642 (2016).

- S. Takagi, T. Nishiyama, M. Yamamoto, E. Sato, T. Kamimura, T. Ogata and H. Horibe, “Decomposition Process of PMMA-based Polymer Using Atomic Hydrogen Generated by a Tungsten Hot-Wire Catalyst”, *J. Photopolym. Sci. Technol.*, 29(2), 629-632 (2016).
- K. Matsuura, T. Nishiyama, E. Sato, M. Yamamoto, T. Kamimura, M. Takahashi, K. Koike and H. Horibe, “Effect of Temperature on Degradation of Polymers for Photoresist Using Ozone Microbubbles”, *J. Photopolym. Sci. Technol.*, 29(2), 623-628 (2016).

・ 査読無

- 山本雅史, “酸素を微量添加した水素ラジカルを用いた “環境にやさしい” レジスト除去技術の開発”, (公財) 山陽放送学術文化財団レポート, 60号, 16-20 (2016).

②学会発表

・ 国際会議

- S. Nagaoka, K. Shiota, T. Tsuji, M. Yamamoto, R. W. Johnston, H. Horibe, and T. Shimizu, “A Feasibility Study of Selective and Simultaneous Thermal Diffusions for Simplified MOS Device Fabrication”, *The 8th International Conference on Nanoscience and Nanotechnology 2017 (NANO-SciTech 2017)*, pp. 4-5, Malaysia (2017).
- M. Yamamoto, T. Shiroy, T. Shikama, S. Nagaoka, H. Umemoto, K. Ohdaira, T. Nishiyama, and H. Horibe, “Measurement of Rate of Photoresist Removal by Hydrogen Radicals using Thin Film Interference”, *The 8th International Conference on Nanoscience and Nanotechnology 2017 (NANO-SciTech 2017)*, pp. 59-60, Malaysia (2017).
- R. Saionji, S. Nagaoka, T. Tsuji, M. Yamamoto, R. W. Johnston, H. Horibe, and T. Shimizu, “A Broron Selective Thermal Impurity Diffusion Method That Supports a Simplified pMOS FET Fabrication Process”, *The 8th International Conference on Nanoscience and Nanotechnology 2017 (NANO-SciTech 2017)*, pp. 80-81, Malaysia (2017).
- N. Takagaki, S. Nagaoka, M. Yamamoto, R. W. Johnston, T. Tsuji, H. Horibe, and T. Shimizu, “A p-n Junction Study for nMOS FET Fabrication using Alignment-less Lithography”, *The 8th International Conference on Nanoscience and Nanotechnology 2017 (NANO-SciTech 2017)*, pp. 82-83, Malaysia (2017).
- M. Yamamoto, H. Okano, K. Yamada, S. Takai, T. Yabutsuka and T. Yao, “Relaxation Analysis of Electrochemically Lithium Inserted γ -Fe₂O₃ by Using a Solid-state Li NMR”, *Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid-State Science 2016*, Vol. MA2016-02, No. 3, 436 USA (2016).

・ 国内会議

- 城井智弘, 山本雅史, 長岡史郎, 鹿間共一, 梅本宏信, 大平圭介, 西山聖, 堀邊 英夫, “水素ラジカルを用いたレジスト除去における除去速度の圧力依存性 (14p-316-5)”, 第 64 回 応用物理学会 春季学術講演会 (東京), 05-049 (2017) .
- 高木誠司, 西山聖, 山本雅史, 佐藤絵理子, 緒方寿幸, 堀邊英夫, “原子状水素を用いた高分子膜の表面微細加工”, プラスチック成形加工学会関西支部平成 28 年度若手セミナー (大阪), (2016) .

- 山本雅史，梅本宏信，大平圭介，鹿間共一，長岡史郎，西山聖，堀邊英夫，“水素ラジカルを用いたレジスト除去における酸素添加の効果”，2016 年度応用物理学会中四国支部 若手半導体研究会（岡山），28（2016）.

④産業財産権

- 山本雅史，飯田大祐，小松大輔：特許第 5945757 号，“電気二重層キャパシタ”.

○所属学会

- 応用物理学会，Cat-CVD 研究会（実行委員）

(機械電子工学科)

平岡 延章

②学会発表

・国内会議

- 川畑勇統, 平岡延章: ステッピングモータ脱調動作の位相面解析, 計測自動制御学会四国支部学術講演会 2016, 2-09, 平成 28 年 11 月 19 日, 徳島大学(徳島市).
- 遠山皓介, 石井耕平, 平岡延章: “在宅療養患者の無拘束遠隔モニタリングを実現する付け爪型脈波センサ用計測回路の開発”, 第 20 回日本遠隔医療学会学術大会, 2016 年 10 月 15 日, 米子コンベンションセンター (米子市).
- 石井耕平, 遠山皓介, 平岡延章: “無拘束脈波モニタリングを実現する付け爪型脈波センサの開発”, 平成 28 年電気学会 電子・情報・システム部門大会, 2016 年 9 月 1 日, 神戸大学 (神戸市).
- 平岡延章, 十河宏行, 由良諭, 正箱信一郎: メカトロニクス基礎教育用ローコスト組立教材キットの開発, 平成 28 年度全国高専フォーラム教育研究活動発表, D-10, 平成 28 年 8 月 26 日, 岡山大学(岡山市).

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 公開講座「からくり工房 2016」の立案・運営・実施
<http://www.kagawa-nct.ac.jp/MS/koukaikouza/koukaikouza.html>
- 表彰
平成 28 年度全国高専フォーラム ポスターセッション(教育研究活動発表)優秀発表者表彰, 平成 28 年 8 月 26 日, 平成 28 年度全国高専フォーラム実行委員長
発表番号: D-10
題 目: メカトロニクス基礎教育用ローコスト組立教材キットの開発
発表者: 平岡延章, 十河宏行, 由良諭, 正箱信一郎

○所属学会

日本機械学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 計測自動制御学会, 日本ロボット学会,
システム制御情報学会, 応用物理学会

十河 宏行

①雑誌論文

・査読有

- 十河宏行, 逸見知弘, 吉澤恒星, 南部彰伸, 平山大貴, 動作解析を用いた野球打撃動作における技術差の定量的比較, 査読有, 電気学会論文誌 C 電子情報システム部門, Vol.137, No.1, pp.60-67, 2017. (https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ieejciss/137/1/_contents/-char/ja/)

- 逸見知弘, 十河宏行, 吉澤恒星, 奥谷健太, 平山大貴, 下半身の筋パワー変化に着目したバットスイングの巧拙比較, 査読有, 電気学会論文誌C電子情報システム部門, Vol.137, No.1, pp.68-75, 2017. (https://www.jstage.jst.go.jp/browse/icejeiss/137/1/_contents/-char/ja/)

②学会発表

・国際会議

- Daiki Hirayama, Kosei Yoshizawa, Hiroyuki Sogo and Tomohiro Henmi: Quantitative Comparison of Technical differences in Baseball Batting Motion by Motion Analysis, Proc. of 2016 International Conference on Advanced Mechatronic Systems, ThuP01-02, Melbourne, 2016. 11. 30-12. 3.

・国内会議

- 衛藤 克, 十河 宏行, 逸見知弘, 正箱信一郎, 動作解析による立ち座り支援機構を用いた立ち動作時の評価, 平成 28 年度 電気学会 電子・情報・システム部門大会, 2016 年 9 月 1 日, 神戸大学 (兵庫) .
- 佐々木弘樹, 十河宏行, 逸見知弘, 吉澤恒星, バットスイングにおける床反力と姿勢に着目した選手の特徴量抽出, 平成 28 年度 電気学会 電子・情報・システム部門大会, 2016 年 9 月 1 日, 神戸大学 (兵庫) .
- 佐々木弘樹, 平山大貴, 十河宏行, 逸見知弘, 吉澤恒星, バットスイングにおける特徴量を用いた貢献度の比較, 電気学会C部門研究会, テーマ「人間の技能の計測・解析・評価」, 2017 年 3 月 25 日, 愛媛大学 (愛媛) .
- 尾形勇太, 十河宏行, 逸見知弘, 石井耕平, 衛藤 克, 立ち座り支援機構を用いた立ち動作における関節トルクについての評価, 電気学会C部門研究会, テーマ「人間の技能の計測・解析・評価」, 2017 年 3 月 25 日, 愛媛大学 (愛媛) .

④産業財産権

- 特許出願: 駆動制御装置および車両, 出願人: 筒井鉄工所, 高専機構, 出願番号: 特願 2016-188048
出願日: 平成 2016 年 9 月 27 日.

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

・受賞

- 優秀発表者表彰, 受賞者: 平岡延章, 十河宏行, 由良論, 正箱信一郎, 平成 28 年 8 月 26 日, 平成 28 年度全国高専フォーラム実行委員会.

○所属学会

日本機械学会, 電気学会

徳永 秀和

①雑誌論文

・査読有

- 砂山 渡, 高間 康史, 徳永 秀和, 串間 宗夫, 西村 和則, 松下 光範, 北村 侑也, “統合環境 TETDM を用いた社会実践”, 人工知能学会論文誌, Vol. 32 No. 1 (2017) .

○所属学会

情報処理学会, 人工知能学会, 日本知能情報ファジィ学会

由良 諭

②学会発表

・国内会議

- 高橋, 由良, “ボルト・ナットの締め付け緩めの補助具の作製と動作実験“, 平成 28 年度計測自動制御学会四国支部学術講演会, 平成 28 年 11 月 19 日, 徳島大学.
- 平岡, 十河, 由良, 正箱, “メカトロニクス基礎教育用ローコスト組立教材キットの開発”, 平成 28 年度全国高専教育フォーラム, 平成 28 年 8 月 26 日, 岡山大学.

⑤その他（受賞, 報道, 書籍投稿など）

・受賞

- 平成 28 年度全国高専教育フォーラム発表賞.

○所属学会

電気学会, 計測自動制御学会, 日本ロボット学会, 日本機械学会

相馬 岳

①雑誌論文

・査読無

- 相馬 岳, 新☆エネルギーコンテストの参加報告, 独立行政法人国立高等専門学校機構香川高等専門学校研究紀要第 8 号 (2017) p. 93.
- 相馬 岳, 三年次の特別活動を利用したエネルギー工学教育の試み, 独立行政法人国立高等専門学校機構香川高等専門学校研究紀要第 8 号 (2017) p. 99.

②学会発表

・国内会議

- 佐野綾大, 吉田恭人, 相馬 岳, $Zn_{1-x}Al_xO$ 系材料を用いた熱電発電モジュールの試作および評価, 第 13 回日本熱電学会学術講演会 (TSJ2016), 東京理科大学葛飾キャンパス (東京都), 2016. 9. 5~9. 6, 予稿集 p. 119.

- 相馬 岳, 郡家伶芽, Zn_4Sb_3 -ZnSb 系材料の作製と熱電発電モジュールの試作, 第13回日本熱電学会学術講演会 (TSJ2016), 東京理科大学葛飾キャンパス (東京都), 2016. 9. 5~9. 6, 予稿集 p. 120.
- 相馬 岳, 佐野綾大, 吉田恭人, 田中一馬, 酸化亜鉛焼結体の熱電特性および熱電発電モジュールの作製, 第27回新構造・機能制御と傾斜機能材料シンポジウム (FGMs2016), 日本大学理工学部 (東京都), 2016. 11. 25~26, 予稿集 p. 23.
- 木内啓介, 相馬 岳, Fe-Al 系化合物を用いた熱電発電モジュールの試作, 日本金属学会中国四国支部第36回若手フォーラム, 岡山国際交流センター, 2017. 02. 17, 講演番号 S-11.
- 佐野綾大, 吉田恭人, 相馬 岳, $Zn_{1-x}Al_xO$ 系材料の作製および熱電特性の評価, 日本金属学会中国四国支部第36回若手フォーラム, 岡山国際交流センター, 2017. 02. 17, 講演番号 S-12.
- 林 航平, 相馬 岳, NiAl 金属間化合物を用いた熱電発電モジュールの試作, 日本金属学会中国四国支部第36回若手フォーラム, 岡山国際交流センター, 2017. 02. 17, 講演番号 S-13.
- 山下真之介, 相馬 岳, Zn_4Sb_3 -ZnSb 系複合材料の作製およびマイクロ組織の評価, 日本金属学会中国四国支部第36回若手フォーラム, 岡山国際交流センター, 2017. 02. 17, 講演番号 S-14.
- 浜野修, 正箱信一郎, 寺嶋昇, 相馬岳: 擬似火星大気における交流 GTA 現象の観察, 溶接学会平成28年度秋季全国大会講演概要 pp246-247, 2016年9月15日.
- 浜野 修, 藤原康平, 正箱信一郎, 寺嶋 昇, 相馬 岳: 擬似火星大気中の交流 GTA 溶接現象に及ぼす周囲圧力の影響, 第22回溶接学会四国支部講演大会講演概要集 pp. 5-6, 2017年3月9日.

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

・受賞

- 木内啓介, 佐野綾大, 山下真之介, 相馬 岳 (指導教員), 三菱重工冷熱賞, 熱電発電モジュールを利用したオフィス・家庭用空調機からの廃熱利用, 第9回新☆エネルギーコンテスト, 日本大学工学部, 福島県郡山市, 平成28年10月8日.

○所属学会

日本金属学会, 日本熱電学会, 日本機械学会, 日本冷凍空調学会, 日本MR S, 傾斜機能材料研究会

嶋崎 真一

①雑誌論文

・査読有

- T. Li, S. Shimasaki, S. Taniguchi, K. Uesugi, and S. Narita. Three-Dimensional Observation of Nonmetallic Inclusion Clusters in Solid Metal by X-ray Micro-CT. ISIJ Int. 2016, vol. 56, no. 11, p. 1989-1995. doi: 10.2355/isijinternational.ISIJINT-2016-218.
- T. Li, S. Shimasaki, S. Taniguchi, K. Uesugi, and S. Narita. Reliability of Inclusion Statistics in Steel by Stereological Methods. ISIJ Int. 2016, vol. 56, no. 9, p. 1625-1633. doi: 10.2355/isijinternational.ISIJINT-2016-269.

・査読無

- 新井宏忠, 嶋崎真一, 松本克才, 液中懸濁粒子の凝集現象, 混相流. 2016, vol. 30, no. 4, p. 383–391. doi: 10.3811/jjmf.30.383.
- 岩井一彦, 棗千修, 嶋崎真一, 柳楽知也, 上野和之, 丸山明日香, 大笹憲一. 電磁振動印加時の物理現象, ふえらむ. 2016, vol. 21, no. 9, p. 536–540. URL: <https://y100.isij.or.jp/ferrum/vol021/09.html>

②学会発表

・その他

- S. Shimasaki. “Effect of Electromagnetic Stirring on Fabrication of Al-Si Semi-Solid Slurry by the Cup Cast Method”. 学术交流, 蘭州 (中国). 2017-3-24, 蘭州理工大学 (Lanzhou University of Technology) 省部共建有色金属先進加工与再利用国家重点實驗室.
- S. Shimasaki. “Inclusion Behavior in Liquid Metals: Agglomeration and Bubble Adhesion”. 学術報告, 重慶 (中国). 2017-3-19, 重慶大学 (Chongqing University) 材料科学与工程学院.
- 嶋崎真一. “回転流れ場に吹き込まれた気泡の微細化に関するモデル実験”. 第7回産学新日鐵住金シンポジウム, 君津, 2017-03-08.
- 嶋崎真一. “溶融金属中介在物粒子の流体力学的挙動”. 第4回 高温プロセスを対象とした振動印加に伴う現象セミナー, 札幌, 2016-10-27, 日本鉄鋼協会北海道支部ノース・フォーラム.

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 未来をつくるパテント&デザインコンテスト 出展常連校の秘密を探る! 香川高等専門学校の場
合. とつきよ. 2017, vol. 31, no. 4–5, p. 10–11, (インタビュー記事).
- 一般社団法人 軽金属学会 研究委員会 委員 (2015-7–現在).
- 一般社団法人 軽金属学会 アルミニウムの凝固・微細化・清浄化研究部会 部会長 (2015-4–現在).
- 一般社団法人 日本鉄鋼協会 高温プロセス部会 精錬フォーラム 幹事 (2010-4–現在).

○所属学会

一般社団法人日本鉄鋼協会, 一般社団法人軽金属学会, 一般社団法人日本塑性加工学会

逸見 知弘

①雑誌論文

・査読有

- 井上昭, 逸見知弘, 吉永慎一, Mingcong Deng: 入力項に無駄時間のある系の出力追従誤差の最小化, 電気学会論文誌C 電子情報システム部門, Vol. 137, No. 1, pp. 54–59, 2017.
- 十河宏行, 逸見知弘, 吉澤恒星, 南部彰伸, 平山大貴: 動作解析を用いた野球打撃動作における技術差の定量的比較, 電気学会論文誌C 電子情報システム部門, Vol. 137, No. 1, pp. 60–67, 2017.
- 逸見知弘, 十河宏行, 吉澤恒星, 奥谷健太, 平山大貴: 下半身の筋パワー変化に着目したバットスイングの巧拙比較, 電気学会論文誌C 電子情報システム部門, Vol. 137, No. 1, pp. 68–75, 2017.

- T. Henmi:Control Parameters Tuning Method of Nonlinear Model Predictive Controller based on Quantitatively Analyzing, Journal of Robotics and Mechatronics, Vol.28 No.5, pp695-701, 2016.

・査読無

- 逸見知弘, 藤澤正一郎:計測制御技術によるライファイノバージョン, 電気学会論文誌C 電子情報システム部門, Vol. 137, No. 2, pp. 200-203, 2017.

②学会発表

・国際会議

- Daiki Hirayama, Kosei Yoshizawa, Hiroyuki Sogo and Tomohiro Henmi:Quantitative Comparison of Technical differences in Baseball Batting Motion by Motion Analysis, Proc. of 2016 International Conference on Advanced Mechatronic Systems, ThuP01-02, Melbourne, 2016. 11. 30-12. 3.
- Tomohiro Henmi, Akira Inoue, Mingcong Deng and Sin-ichi Yoshinaga: Early Detection of Plant Faults by Using Machine Learning, Proc. of 2016 International Conference on Advanced Mechatronic Systems, ThuP04-03, Melbourne, 2016. 11. 30-12. 3.

・国内会議

- 逸見知弘:実学を意識した学生向け制御工学実験の有効性の検証, 電気学会 電子・情報・システム部門 制御研究会「制御工学・制御技術教育および制御技術一般」, CT-17-042, 2017年3月26日, 愛媛大学(愛媛).
- 秋山将貴, 逸見知弘:選手の技能に基づいた劣駆動鉄棒ロボットの目標角比と制御性能の検証, 電気学会 電子・情報・システム部門 制御研究会「人間の技能データの計測・解析・評価および制御技術一般」, CT-17-040, 2017年3月25日, 愛媛大学(愛媛).
- 大住康貴, 平井裕貴, 滝康嘉, 逸見知弘, 山崎容次郎:人で操作できる文楽ロボットの開発, 電気学会 電子・情報・システム部門 制御研究会「人間の技能データの計測・解析・評価および制御技術一般」, CT-17-037, 2017年3月25日, 愛媛大学(愛媛).
- 尾形勇太, 十河宏行, 逸見知弘, 石井耕平, 衛藤 克:立ち座り支援機構を用いた立ち動作における関節トルクについての評価, 電気学会 電子・情報・システム部門 制御研究会「人間の技能データの計測・解析・評価および制御技術一般」, CT-17-034, 2017年3月25日, 愛媛大学(愛媛).
- 佐々木弘樹, 平山大貴, 十河宏行, 逸見知弘, 吉澤恒星:バットスイングにおける特徴量を用いた貢献度の比較, 電気学会 電子・情報・システム部門 制御研究会「人間の技能データの計測・解析・評価および制御技術一般」, CT-17-033, 2017年3月25日, 愛媛大学(愛媛).
- 柏原斉佳, 滝康嘉, 逸見知弘, 山崎容次郎:水道管の検査に適した自走型検査ロボットの開発, 日本機械学会 中国四国学生会 第47回学生員卒業研究発表講演会, 2017年3月6日, 広島工業大学(広島).

- 大住康貴, 平井裕貴, 滝康嘉, 逸見知弘, 山崎容次郎 : 人で操作できる文楽ロボットの提案, 日本機械学会 中国四国学生会 第47回学生員卒業研究発表講演会, 2017年3月6日, 広島工業大学(広島).
- 秋山将貴, 逸見知弘: 選手の技能に基づいた劣駆動鉄棒ロボットの目標角比の切り替え条件と制御性能の検証, 電気学会 電子・情報・システム部門 制御研究会「制御理論・制御技術一般」, CT-16-102, 2016年12月23日, 広島大学(広島).
- 村上智史, 逸見知弘: 内部モデルに制御パラメータを持つ適応型モデル予測制御のパラメータ調整法, 電気学会 電子・情報・システム部門 制御研究会「制御理論・制御技術一般」, CT-16-101, 2016年12月23日, 広島大学(広島).
- 逸見知弘: 人間がもつ技能データの計測・解析および制御技術への活用に関する調査専門委員会の総括, 平成28年 電気学会 電子・情報・システム部門大会講演論文集, pp. 347-348, 2016年8月31日-9月3日, 神戸大学(兵庫).
- 佐々木弘樹, 十河宏行, 逸見知弘, 吉澤恒星: バットスイングにおける床反力と姿勢に着目した選手の特徴量抽出, 平成 28 年 電気学会 電子・情報・システム部門大会講演論文集, pp. 337-340, 2016年8月31日-9月3日, 神戸大学(兵庫).
- 衛藤克, 十河宏行, 逸見知弘: 動作解析による立ち座り支援機構を用いた立ち動作時の評価, 平成28年 電気学会 電子・情報・システム部門大会講演論文集, pp. 333-336, 2016年8月31日-9月3日, 神戸大学(兵庫).
- 秋山将貴, 逸見知弘: 選手の技能に基づいた劣駆動鉄棒ロボットの制御目標角比と制御性能の検証, 平成28年 電気学会 電子・情報・システム部門大会講演論文集, pp. 322-327, 2016年8月31日-9月3日, 神戸大学(兵庫).
- 村上智史, 逸見知弘: FRITとCMACを用いた適応型モデル予測制御のパラメータ調整, 平成28年 電気学会 電子・情報・システム部門大会講演論文集, pp. 317-321, 2016年8月31日-9月3日, 神戸大学(兵庫).
- 井上昭, Mingcong Deng, 逸見知弘, 吉永慎一: 機械学習によるプラント故障の早期検出, 電気学会 電子・情報・システム部門 制御研究会, テーマ「安全制御・故障診断」, CT-16-063, 2016年7月9日, 岡山大学(岡山).

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 2016年度 一般社団法人日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門ベストプレゼンテーション表彰, 2016年6月.

○所属学会

計測自動制御学会, 電気学会, 日本機械学会, システム制御情報学会, 日本ロボット学会, IEEE

正箱 信一郎

②学会発表

・国内会議

- 浜野修, 藤原康平, 正箱信一郎, 寺嶋昇, 相馬岳: 疑似火星大気中の交流GTA溶接現象に及ぼす周囲圧力の影響, 第22回溶接学会四国支部講演大会講演概要集pp.5-6, 2017年3月9日.
- 藤原康平, 浜野修, 正箱信一郎, 寺嶋昇, 疑似火星大気中での交流GTAによる突合せ溶接実験, 第22回溶接学会四国支部講演大会講演概要集pp.7-8, 2017年3月9日.
- 大森健太郎, 正箱信一郎, 寺嶋昇: GTA溶接の赤外線像を用いた隅肉溶接の自動制御, 第22回溶接学会四国支部講演大会講演概要集pp.9-10, 2017年3月9日.
- 大森大輝, 正箱信一郎, 丸笹憲志, 向井公人, 寺嶋昇: マシニングセンタを用いた摩擦攪拌接合における母材固定治具の改良, 第22回溶接学会四国支部講演大会講演概要集pp.11-12, 2017年3月9日.
- 浜野修, 正箱信一郎, 寺嶋昇, 相馬岳: 疑似火星大気における交流GTA現象の観察, 溶接学会平成28年度秋季全国大会講演概要, 2016年9月15日.
- 平岡延章, 十河宏行, 由良諭, 正箱信一郎: メカトロニクス基礎教育用ローコスト組立教材キットの開発, 平成28年度全国高専フォーラムポスターセッション (教育研究活動発表), 2016年8月26日

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 正箱信一郎: 簡易ツールとマシニングセンタを用いたアルミニウム合金の摩擦攪拌接合, 香川高等専門学校シーズ発表会, 2016年9月21日.
- 平成28年度全国高専フォーラムポスターセッション (教育研究活動発表) 優秀発表賞, 平岡延章, 十河宏行, 由良諭, 正箱信一郎: メカトロニクス基礎教育用ローコスト組立教材キットの開発, 2016年8月26日.

・学生への受賞

- 浜野修: 平成28年度溶接学会奨学賞, 一般社団法人溶接学会.
- 藤原康平: 第22回溶接学会四国支部講演大会優秀発表賞, 一般社団法人溶接学会四国支部.

○所属学会

溶接学会, 日本溶接協会, 航空宇宙学会, 軽金属溶接協会

石井 耕平

②学会発表

・国内会議

- 石井耕平, 遠山皓介: “付け爪型脈波計のための反射型光電脈波回路の開発”, 第55回日本生体医工学会大会, 2016年4月28日, 富山国際会議場 (富山県・富山市).

- 遠山皓介, 石井耕平, 平岡延章: “無拘束脈波モニタリングを実現する付け爪型脈波センサの開発”, 平成 28 年電気学会 電子・情報・システム部門大会, 2016 年 9 月 1 日, 神戸大学 (兵庫県・神戸市) .
- 遠山皓介, 石井耕平, 平岡延章: “在宅療養患者の無拘束遠隔モニタリングを実現する付け爪型脈波センサ用計測回路の開発”, 第 20 回日本遠隔医療学会学術大会, 2016 年 10 月 15 日, 米子コンベンションセンター (鳥取県・米子市) .

④産業財産権

- 駆動制御装置および車両, 発明者 (筒井琢也, 石井耕平, 十河宏行), 権利者 (筒井鉄工株式会社, 独立行政法人国立高等専門学校機構), 特許, 特願 2016-188048, 出願: 平成 28 年 9 月 27 日, 国内.
- ウェアラブル脈波センサ, 発明者 (石井耕平), 権利者 (独立行政法人国立高等専門学校機構), 特許, 特願 2017-014027, 出願: 平成 29 年 1 月 30 日, 国内.

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 平岡延章, 石井耕平他, 平成 28 年度公開講座: からくり工房 2016-親子で楽しむモノづくり-, 会場: 香川高等専門学校 高松キャンパス, 2016 年 7 月 30 日, 31 日.

○所属学会

日本生体医工学会

津守 伸宏

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 公開講座「からくり工房 -親子で楽しむモノづくり-」2016 年 7 月 30 日, 7 月 31 日.

○所属学会

応用物理学会, 日本光学会, The Optical Society (OSA)

(建設環境工学科)

小竹 望

②学会発表

・国際会議

- Kotake, N., Kadono, S. and Kutsuzawa, T.: Bearing Capacity Tests of Surface Footing Similar to the Flexible Bearing Plate for Soil Nailing, Proceedings of Geo-Environmental Engineering 2016, pp.269-277, 2016.

・国内会議

- 小竹 望・塩入潤一郎・佐野博昭・稲積真哉・桑嶋啓治・松下和史：再生石膏固化材の硬化特性と固化土の現場強度，土木学会平成 28 年度全国大会第 71 回年次学術講演会，pp.521-522, 2016.
- 小竹望・角野充・沓澤武：地山補強工に用いる柔な受圧板の支圧抵抗を模した表面基礎の支持力実験，地盤工学会第 51 回地盤工学研究発表会，pp.1581-1582, 2016.
- 多田有汰・小竹望・山中稔：津波堆積物分別土の木くず混入量が一面せん断強さに及ぼす影響（その 2），地盤工学会第 51 回地盤工学研究発表会，pp.571-572,2016.
- 竹谷貢太・小竹 望・多田有汰：締固めた竹繊維混合土のせん断強度特性，平成28年度土木学会四国支部技術研究発表会，WEB掲載，jsce7-106-2016.
- 塩入潤一郎・小竹 望・松下 和史：再生石膏固化材の硬化特性と固化土の現場強度，平成28年度土木学会四国支部技術研究発表会，WEB掲載，jsce7-108-2016.
- 多田有汰・小竹 望・山中 稔：津波堆積物分別土の木くず混入量が一面せん断強さに及ぼす影響（続報），平成 28 年度土木学会四国支部技術研究発表会，WEB 掲載，jsce7-109-2016.
- 塩入潤一郎・小竹 望・高島敦之・多田隆志・山内守：再生石膏の造粒材としての適用性検討，地盤工学会四国支部平成 28 年度技術研究発表会講演概要集，pp.83-84, 2016.
- 竹谷貢太・小竹望・多田有汰・山中稔：締固めた津波堆積物分別土の一軸圧縮強さについて，地盤工学会四国支部平成 28 年度技術研究発表会講演概要集，pp.93-94, 2016.
- 多田有汰・小竹望・山中稔：津波堆積物分別土の木くず混入量が一面せん断強さに及ぼす影響（その 3），地盤工学会四国支部平成 28 年度技術研究発表会講演概要集，pp.95-96, 2016.

⑤その他（受賞，報道，書籍投稿など）

- 小竹望：屋外広告物の施工，平成 28 年度第 1 回香川県屋外広告物講習会，香川県都市計画課，平成 28 年 6 月 13 日.
- 小竹望：屋外広告物の施工，平成 28 年度第 2 回香川県屋外広告物講習会，香川県都市計画課，平成 28 年 12 月 12 日.

○所属学会

土木学会， 国際地盤工学会， 国際ジオシンセティックス学会， 材料学会， 廃棄物資源循環学会

向谷 光彦

②学会発表

・国内会議

- 向谷光彦, 久保慶徳, 自然斜面保護工「ハイスイテラス工法」の開発, 地盤工学会四国支部平成 28 年度技術研究発表会講演概要集, 公益社団法人地盤工学会四国支部, 2016.11.17, 愛媛県松山市.
- 向谷光彦, 久保慶徳, 野村妃奈, 能野一美, 高透水性土用の透水試験装置開発に向けての基礎的研究, 地盤工学会四国支部平成 28 年度技術研究発表会講演概要集, 公益社団法人地盤工学会四国支部, 2016. 11. 17, 愛媛県松山市.

④産業財産権

- 自然斜面の保護構造, 発明者; 向谷光彦, 久保慶徳, 権利者; 独立行政法人国立高等専門学校機構, 特許権, 特願 2016-160954, 平成 28 年 8 月 19 日出願, 国内.

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

- (公財) 地盤工学会四国支部賞技術開発賞受賞, 平成 28 年 4 月, 現場透水試験装置水華を用いた測定時間短縮化方法について.

○所属学会

土木学会, 地盤工学会, 自然災害学会, テラメカニックス研究会

鶴本 良博

○所属学会

土木学会

宮崎 耕輔

○所属学会

土木学会, 日本都市計画学会, 交通工学研究会, 農村計画学会, アジア交通学会 (EASTS), 世界交通学会 (WCTR), ヨーロッパ交通学会 (ETC)

多川 正

①雑誌論文

・査読有

- 高橋直己, 長尾涼平, 林和彦, 多川正: V 型断面簡易魚道の流況特性と小型水生生物の魚道利用状況, 土木工学会論文集 B1 (水工学), Vol.73, No.4, I_391-I396, 2017.

- 野本直樹, Tyagi Vinay Kumar, Ali Muntjeer, Jayaswal Komal, Maharjan Namita, 井口晃徳, 幡本将史, 大久保努, 高橋優信, 久保田健吾, 多川正, 上村繁樹, 山口隆司, 原田秀樹 : 開発途上国における実機スケール DHS リアクターのスタートアップ特性および高有機物負荷条件下における有機物処理特性, 水環境学会誌, Vol.40, No.1, pp.11-19, 2017.
- Kobayashi N., Oshiki M., Ito T., Segawa T., Hatamoto M., Kato T., Yamaguchi T., Kubota K., Takahashi M., Iguchi A., Tagawa T., Okubo T., Uemura S., Harada H., Motoyama T., Araki N., Sano D. : Removal of human pathogenic viruses in a down-flow hanging sponge (DHS) reactor treating municipal wastewater and health risks associated with utilization of the effluent for agricultural irrigation, Water Research, Vol.110, No.1, pp.389-398, 2017.
- 長町晃宏, 井口晃徳, 瀬戸雄太, 久保田健吾, 押木守, 荒木信夫, 大久保努, 上村繁樹, 高橋優信, 原田秀樹, 多川正 : 一次沈殿+DHS システムによる衛生指標微生物の処理性能評価, 土木学会論文集 G (環境) , Vol.72, No.7, III_187-III_195, 2016.

②学会発表

・国際会議

- Nomoto N., Ali M., Jayaswal K., Iguchi A., Hatamoto M., Okubo T., Takahashi M., Kubota K., Tagawa T., Uemura S., Yamaguchi T., Harada H. : Removal and oxygen consumption of retained sludge for organic matter, ammonium and sulfur in a practical-scale down-flow hanging sponge sewage-treatment reactor, Annual International conference on sustainable energy and environmental sciences (SEES), March 6, 2017, Singapore (Singapore).
- Nomoto N., Tyagi V. K., Ali M., Jayaswal K., Maharjan N., Iguchi A., Hatamoto M., Okubo T., Takahashi M., Kubota K., Tagawa T., Uemura S., Yamaguchi T., Harada H. : Characteristics of Start-up for the Practical Scale DHS Reactor in India, International conference of Science of Technology Innovation, January 5, 2017, Nagaoka (Niigata).
- Ohno S., Tagawa T.: The Suggestion About Sustainable Wastewater Treatment System by Appropriate Technology, 6th International Symposium on Technology for Sustainability, October 6, 2016, Yogyakarta (Indonesia).
- Tagawa T., Okubo T., Tawfik A., Harada H. : Innovation of sewage treatment technology for agricultural reuse in Arid regions, International symposium for the promotion of science and technology Innovation cooperation between Africa and Japan –Life Innovation and Green Innovation-, July 13, 2016, Ichigaya, (Tokyo).
- Iguchi A., Kubota K., Oshiki M., Tagawa T., Okubo T., Uemura S., Araki N., Harada H. : Evaluation of down-flow hanging sponge reactor: virus removals and microbial ecology, International symposium for the promotion of science and technology Innovation cooperation between Africa and Japan –Life Innovation and Green Innovation-, July 13, 2016, Ichigaya, (Tokyo).

- Uemura S., Okubo T., Uchida S., Oshiki M., Araki N., Tagawa T., Iguchi A., Tawfik A., Fleifile A., Kubota K., Harada H. : Evaluation of disability-adjusted life year and microbial risk to the farmers using agricultural drainage water for irrigation in west Nile delta, International symposium for the promotion of science and technology Innovation cooperation between Africa and Japan –Life Innovation and Green Innovation-, July 13, 2016, Ichigaya, (Tokyo).
- Iguchi A., Kubota K., Ohiki M., Tagawa T., Okubo T., Uemura S., Araki N., Harada H. : Environmental Education Class (ECC) in Egypt, International symposium for the promotion of science and technology Innovation cooperation between Africa and Japan –Life Innovation and Green Innovation-, July 13, 2016, Ichigaya, (Tokyo).

・国内会議

- 高橋直己, 長尾涼平, 林 和彦, 多川正 : V 型断面簡易魚道の流況特性と小型水生生物の魚道利用状況, 第 61 回水工学講演会, 2017 年 3 月 17 日, 九州大学伊都キャンパス (福岡県・福岡市) .
- 長町晃宏, 景政柁蘭, 多川正, 井口晃徳, 押木守, 荒木信夫, 大久保努, 上村繁樹, 久保田健吾, 高橋優信, 原田秀樹 : 初沈+DHS システムにおける処理水質の長期安定性に関する検証, 第 51 回日本水環境学会年会, 2017 年 3 月 17 日, 熊本大学黒髪南キャンパス (熊本県・熊本市) .
- 大森聖史, 長野晃弘, 田中信宏, 大澤典明, 多川正, 長町晃宏 : DHS と生物ろ過装置の初沈越流水処理特性, 第 51 回日本水環境学会年会, 2017 年 3 月 17 日, 熊本大学黒髪南キャンパス (熊本県・熊本市) .
- 井口晃徳, 久保田健吾, 稲葉愛美, 原田秀樹, 大久保努, 上村繁樹, 長町晃宏, 多川正, 押木守, 荒木信夫, 瀬戸雄太, 幡本将史, 山口隆司, 高橋優信 : 下水処理 DHS リアクターの運転条件がウイルス除去性能に及ぼす影響, 第 51 回日本水環境学会年会, 2017 年 3 月 17 日, 熊本大学黒髪南キャンパス (熊本県・熊本市) .
- 押木守, 小林直央, 荒木信夫, 伊藤寿宏, 佐野大輔, 三浦尚之, 風間しのぶ, 原田秀樹, 久保田健吾, 幡本将史, 山口隆司, 井口晃徳, 瀬川高弘, 加藤毅, 多川正, 大久保努, 上村繁樹, 高橋優信 : ナノ流路デバイスを用いた下水中 RNA ウイルス定量およびタイピング : DHS リアクターへの適用例, 第 51 回日本水環境学会年会, 2017 年 3 月 16 日, 熊本大学黒髪南キャンパス (熊本県・熊本市) .
- 景政柁蘭, 長町晃宏, 多川正, 久保田健吾, 原田秀樹, 井口晃徳, 押木守, 荒木信夫, 大久保努, 上村繁樹 : 乾燥途上国における下水の灌漑再利用のための処理システムの開発, 第 51 回日本水環境学会年会, 2017 年 3 月 15 日, 熊本大学黒髪南キャンパス (熊本県・熊本市) .
- 田中周弥, 大久保努, 上村繁樹, 多川正, 井口晃徳, 押木守, 荒木信夫, 高橋優信, 久保田健吾, 原田秀樹 : 下水灌漑におけるウイルスを対象とした健康リスク評価, 第 51 回日本水環境学会年会, 2017 年 3 月 15 日, 熊本大学黒髪南キャンパス (熊本県・熊本市) .
- 野本直樹, 幡本将史, 山口隆司, Muntzir Ali, 高橋優信, 久保田健吾, 原田秀樹, 大久保努, 上村繁樹, 多川正, 井口晃徳, Komal Jayaswal : インドアグラ市に建設された実規模スケール下水処理 DHS リアクター有機物処理特性, 第 51 回日本水環境学会年会, 2017 年 3 月 15 日, 熊本大学黒髪南キャンパス (熊本県・熊本市) .

- 長町晃宏, 井口晃徳, 瀬戸雄太, 久保田健吾, 押木守, 荒木信夫, 大久保努, 上村繁樹, 高橋優信, 原田秀樹, 多川正: 一次沈殿+DHS システムによる衛生指標微生物の処理性能評価, 第 53 回環境工学研究フォーラム, 2016 年 12 月 6 日, 北九州国際会議場 (福岡県・北九州市) .
- 野本直樹, 幡本将史, 山口隆司, Vinay Kumar Tyagi, Muntzir Ali, 高橋優信, 久保田健吾, 原田秀樹, 大久保努, 上村繁樹, 多川正, 井口晃徳, Komal Jayaswal : インドにおける下水処理 UASB の処理性能および後段処理 DHS のスタートアップ特性, 第 19 回日本水環境学会シンポジウム, 2016 年 9 月 13 日, 秋田県立大学秋田キャンパス (秋田県・秋田市) .
- 野本直樹, 幡本将史, 山口隆司, Muntzir Ali, 高橋優信, 久保田健吾, 原田秀樹, 大久保努, 上村繁樹, 多川正, 井口晃徳, Komal Jayaswal : 実規模スケール下水処理 DHS リアクターの有機物除去および酸素消費特性, 土木学会平成 28 年度全国大会第 71 回年次学術講演会, 2016 年 9 月 9 日, 東北大学川内北キャンパス (宮城県・仙台市) .
- 長町晃宏, 景政柊蘭, 野村妃奈, 多川正, 井口晃徳, 押木守, 荒木信夫, 大久保努, 上村繁樹, 久保田健吾, 高橋優信, 原田秀樹 : 都市下水処理を目的とした一次沈殿槽+DHS リアクターを用いた処理性能評価, 土木学会平成 28 年度全国大会第 71 回年次学術講演会, 2016 年 9 月 9 日, 東北大学川内北キャンパス (宮城県・仙台市) .
- 三澤有輝, 長尾涼平, 高橋直己, 多川正 : 潮止堰に適する簡易魚道の開発と現場への適用-香東川潮止堰の事例-, 平成 28 年度農業農村工学会大会講演会, 2016 年 8 月 30 日, ホテル法華クラブ仙台 (宮城県・仙台市) .
- 長町晃宏, 景政柊蘭, 野村妃奈, 多川正, 井口晃徳, 押木守, 荒木信夫, 大久保努, 上村繁樹, 久保田健吾, 高橋優信, 原田秀樹 : 乾燥地域での適応を目的とした簡易沈殿槽と DHS リアクターを組み合わせた新規下水処理技術の処理性能評価, 平成 28 年度土木学会四国支部第 22 回技術研究発表会, 2016 年 5 月 28 日, 高知工科大学香美キャンパス (高知県・香美市) .
- 景政柊蘭, 長町晃宏, 多川正, 久保田健吾, 高橋優信, 原田秀樹, 井口晃徳, 大久保努, 上村繁樹, 押木守, 荒木信夫 : 最初沈殿池+DHS リアクターを用いた処理水の灌漑利用のための衛生的指標の評価, 平成 28 年度土木学会四国支部第 22 回技術研究発表会, 2016 年 5 月 28 日, 高知工科大学香美キャンパス (高知県・香美市) .

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

・受賞

- 香川県県知事表彰: 衛生指標微生物の除去を強化する DHS 下水処理システムの開発, 2016.11.29.

・報道

- 四国新聞: 低コストの下水処理施設 自治体注目 2~3 割削減, 2017.1.26.
- 荘内日報: 県の魚「サクラマス」遊佐で陸上養殖へ, 2017.2.25.

○所属学会

IWA (International Water Association) 国際会員, 日本水環境学会, 日本微生物生態学会, 土木学会, 環境技術学会, 日本下水道協会, 廃棄物資源循環学会, 日本工学教育協会, 中国・四国工学教育協会

林 和彦**①雑誌論文****・ 査読有**

- 野島昭二, 遠野利之, 渡邊晋也, 林和彦: 緩傾斜鉄筋コンクリート部材の施工と耐久性評価, プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集, Vol.25, 2016年10月.
- 小松怜史, 田島涼, 林和彦, 細田暁: 表面吸水試験における計測データのノイズ処理アルゴリズムの検討, コンクリート工学年次論文集, Vol.38, No.1, pp.2043-2048, 2016年7月.

・ 査読無

- 増尾敬, 林和彦: コンクリートの様々な角度の面に適用可能な表面吸水試験装置の開発, 土木学会第71回年次学術講演会概要集, V-477, pp.953-954, 2016年9月.
- 井上翼, 林和彦: コンクリートの塩化物イオン拡散係数と表面吸水速度との関係, 土木学会第71回年次学術講演会概要集, V-375, pp.749-750, 2016年9月.
- 林和彦: コンクリート構造物の表層品質の評価(表面吸水試験), コンクリートテクノ, Vol.35, No.8, pp.67-75, 2016年8月.
- 長尾涼平, 三澤有輝, 高橋直己, 林和彦: 多様な流速場を創出する簡易魚道の越流形状に関する実験的検討, 平成28年度農業農村工学会大会講演会要旨集, 2-2, 2016年8月.
- 大和田晴海, 林和彦, 増尾敬, 井上翼: 表面吸水試験における測定ノイズ除去方法の提案, 土木学会四国支部第22回技術研究発表会講演概要集, 2016年5月.
- 佐々木翔大, 水越睦視, 東山浩士, 中井裕司, 林和彦: 下面増部配力筋の重ね継手長に関する実験, 土木学会四国支部第22回技術研究発表会講演概要集, 2016年5月.
- 川崎巧貴, 林和彦, 水越睦視: シリコマンガンスラグのコンクリート用細骨材への適用に関する実験, 土木学会四国支部第22回技術研究発表会講演概要集, 2016年5月.
- Akira Hosoda and Kazuhiko Hayashi: Evaluation of Covercrete Quality of Concrete Structures by Surface Water Absorption Test, International Symposium on Concrete and Structures for Next Generation, Ikeda & Otsuki Symposium (IOS2016), Tokyo, Japan, pp.223-230, 16-18 May 2016.

④産業財産権

- 椿龍哉, 細田暁, 林和彦, 長沼光
新旧コンクリートの接合方法及び接合構造
特許第5920774号(登録日2016年4月22日)

○所属学会

公益社団法人土木学会, 公益社団法人日本コンクリート工学会,
公益社団法人プレストレストコンクリート工学会

柳川 竜一

①雑誌論文

・ 査読有

- 柳川竜一・岩間俊二・麦倉哲(2016.11) : 岩手県大槌町臨海地域における複合災害発生を考慮した避難支援マップの作成, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, I_1579-I_1584.
- Ryoichi Yanagawa, Shuzo Koshino(2016.07): Tsunami Inundation Area and Run-up Height in the Iwate Coastal Region Following the Great East Japan Earthquake as Estimated from Aerial Photographs and Digital Elevation Data, Natural Hazards, Volume 82, Issue 3, pp.2051-2073., DOI:10.1007/s11069-016-2285-1.

・ 査読無

- 宮脇康平・遠藤徹・柳川竜一(2016.11) : 大和川河口域における流下仔アユの分布エリアの推定と生息環境評価, 第7回水環境学会関西支部研究発表会, 5p.
- 柳川竜一(2016.10) : 既往最大・最悪想定での複合災害発生時における高台避難を想定した避難支援マップの作成プロセスについて, 第25回地理情報システム学会学術研究発表大会, C-2-1, 4p.
- 柳川竜一・岩間俊二(2016.09) : 岩手県大槌町沿岸地域における東日本大震災津波の建物被害分析, 第35回日本自然災害学会学術講演会, pp115-116.

②学会発表

・ 国内会議

- 第63回海岸工学講演会(土木学会主催), 柳川竜一・岩間俊二・麦倉哲: 岩手県大槌町臨海地域における複合災害発生を考慮した避難支援マップの作成, 大阪府大阪市, 2016年11月.
- 第25回学術研究発表大会(地理情報システム学会主催), 柳川竜一: 既往最大・最悪想定での複合災害発生時における高台避難を想定した避難支援マップの作成プロセスについて, 東京都, 2016年10月.
- 第35回自然災害学会学術講演会(自然災害学会主催), 柳川竜一・岩間俊二: 岩手県大槌町沿岸地域における東日本大震災津波の建物被害分析, 静岡県静岡市, 2016年9月.

○所属学会

公益社団法人土木学会, 日本自然災害学会, 一般社団法人地理情報システム学会,
一般社団法人生態系工学研究会

今岡 芳子

①雑誌論文

・ 査読無

- 今岡芳子, 大森宣暁, 小林敏樹, 寺内義典, 長野博一, 長谷川万由美, 八藤後猛, 山崎晋(子育て・子育てまちづくり特別研究委員会) : パパから見た子育て・子育てまちづくり—子育て経験に根ざした研究の可能性—, 福祉のまちづくり研究, Vol.19, No.1, pp.43-54, (2017.3).

②学会発表

・国内会議

- 内田由理子, 鱒目正志, 向谷光彦, 今岡芳子: 企業の女性技術者活用状況および女子学生支援の進展と課題, 日本高専学会第22回年会講演会論文集, pp.9-11, 2016.8.27, (静岡県沼津市).
- 岡田加奈子, 今岡芳子, 清崎淳子: 地熱発電の知識有無が不安と受益に及ぼす影響に関する一考察, 日本地熱学会平成28年度学術講演会講演要旨集, B46, 2016.10.21, (福島県郡山市).
- 岡田加奈子, 今岡芳子, 宮崎耕輔: 地熱発電所を対象とした知識と不安の関係性に関する一考察, 平成28年度土木学会四国支部第22回技術研究発表会講演概要集, jsce7-047-2016, 2016.5.28 (高知県香美市).

○所属学会

土木学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学センター, 日本福祉のまちづくり学会, 日本地熱学会, 地理情報システム学会

高橋 直己

①雑誌論文

・査読有

- 高橋直己, 長尾涼平, 林 和彦, 多川 正: V型断面簡易魚道の流況特性と小型水生生物の魚道利用状況, 土木工学会論文集 B1 (水工学), 査読有, Vol.73, No.4, I_391-I396, 2017.

②学会発表

・国内会議

- 三澤有輝, 長尾涼平, 高橋直己, 多川 正: 潮止堰に適する簡易魚道の開発と現場への適用-香東川潮止堰の事例-, 平成28年度農業農村工学会大会講演会, 2016年8月30日, ホテル法華クラブ仙台 (宮城県・仙台市).
- 長尾涼平, 三澤有輝, 高橋直己, 林 和彦: 多様な流速場を創出する簡易魚道の越流形状に関する実験的検討, 平成28年度農業農村工学会大会講演会, 2016年8月30日, ホテル法華クラブ仙台 (宮城県・仙台市).
- 高橋直己, 本津見桜, 長尾涼平: 水路内の小規模な掘り込みにおける流速特性と水生生物の挙動, 平成28年度農業農村工学会大会講演会, 2016年8月31日, ホテル法華クラブ仙台 (宮城県・仙台市).
- 高橋直己, 長尾涼平, 林 和彦, 多川 正: V型断面簡易魚道の流況特性と小型水生生物の魚道利用状況, 第61回水工学講演会, 2017年3月17日, 九州大学伊都キャンパス (福岡県・福岡市).

○所属学会

土木学会, 農業農村工学会, 応用生態工学会, 砂防学会

鈴木 麻里子

①雑誌論文

・ 査読有

- 鈴木麻里子, 久保京子, 河端俊典: “生分解性樹脂コンクリートの統計的劣化予測”, コンクリート工学論文集, 査読有, 第27巻(2016), pp.1-6, <http://doi.org/10.3151/crt.27.1>.
- 鈴木麻里子, 久保京子, 河端俊典: “PBSA, PLAを用いた生分解性樹脂コンクリートの劣化比較”, コンクリート工学論文集, 査読有, 第27巻(2016), pp.7-12, <http://doi.org/10.3151/crt.27.7>.

②学会発表

・ 国際会議

- Suzuki, M., Kotake, N. and Kawabata, T. (2016.06) : Development of Biodegradable Resin Concrete toward Geo-Environmental Load Reduction, Geo-Environmental Engineering 2016, pp.91-98 (Nantes, France) .

・ 国内会議

- 鈴木麻里子, 足立優斗, 秦栄三, 中村誠, 吉村睦, 河端俊典: 水中暴露した生分解性樹脂コンクリートの強度低下比較, H28年度農業農村工学会大会講演会, 2016年8月30日～9月2日, 宮城県(仙台) .
- 足立優斗, 水越睦視, 河合慶有, 鈴木麻里子: スラグ系細骨材のコンクリートへの有効利用に関する実験, 平成28年度土木学会四国支部代22回技術研究発表会, 2016年5月28日, 高知県(高知) .

○所属学会

農業農村工学会, 地盤工学会, 土木学会

(通信ネットワーク工学科)

福永 哲也

○所属学会

電子情報通信学会

塩沢 隆広

②学会発表

・国際会議

- M. Tsuchiya and T. Shiozawa, "Agile and Compact Near-Field Analyses of Onboard Bluetooth Module by Live Electrooptic Imaging," Proce. of 46th EuMC, pp. 1131-1134, Oct. 2016.

○所属学会

電子情報通信学会, 映像情報メディア学会, 医用画像情報学会, 三次元映像のフォーラム,
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム (URCF) 特別会員, 3Dコンソーシアム賛助会員

澤田 士朗

○所属学会

日本物理学会, 電子情報通信学会

井上 忠照

○所属学会

(一社) 電子情報通信学会, IEEE (米国電気電子学会)

一色 弘三

②学会発表

・国際会議

- Tomoki Obayashi, Akira Ono and Hiromi Isshiki, "Twitter-based Network System for Watching over Elderly Person", Proceedings of 2017 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and SignalProcessing, pp.17-20, Feb. 28th to Mar. 3rd, 2017, Guam(USA).

・国内会議

- 大林智樹, 小野安季良, 一色弘三, "XBee を利用した無線通信と Twitter 連携による高齢者見守りシステムの開発", 第22回高専シンポジウム in Mie, F-06, 2017年1月28日, 鳥羽商船高等専門学校 (三重県・鳥羽市) .

○所属学会

電子情報通信学会, 日本生体医工学会

横内 孝史

真鍋 克也

⑤その他（受賞, 報道, 書籍投稿など）

・受賞

- 協会功労賞, 2016年12月, 香川県水泳協会.

○所属学会

電子情報通信学会, IEEE

高城 秀之

○所属学会

情報処理学会, 電子情報通信学会

正本 利行

②学会発表

・国内会議

- 前川直輝, 正本利行 : “畳み込み符号のタナーグラフのループ除去の検討(2)”, 電子情報通信学会技術研究報告 Vol.116, No.394, pp.41-46, 2017.

小野 安季良

①雑誌論文

・査読有

- Widiyant, M.Hashizume, S.Suenaga, H.Yotsuyanagi, A.Ono, Shyue-Kung LUa and Zvi ROTH, "A Built-in Test Circuit for Electrical Interconnect Testing of Open Defects in Assembled PCBs", IEICE Trans. INF. & SYST., Vol.E99-D, No.11, pp.2723-2733, 2016, 査読有.

②学会発表

・国際会議

- Tomoki Obayashi, Akira Ono and Hiromi Isshiki, "Twitter-based Network System for Watching over Elderly Person", Proceedings of 2017 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing, pp.17-20, Feb. 28th to Mar. 3rd, 2017, Guam(USA).

・国内会議

- 大林智樹, 小野安季良, 一色弘三, "XBee を利用した無線通信と Twitter 連携による高齢者見守りシステムの開発", 第22回高専シンポジウム in Mie, F-06, 2017年1月28日, 鳥羽商船高等専門学校(三重県・鳥羽市).
- 前川諒汰, 小野安季良, "検査用信号として矩形波を用いた全 LED 両端の信号波形", 第22回高専シンポジウム in Mie, E-15, 2017年1月28日, 鳥羽商船高等専門学校(三重県・鳥羽市).

○所属学会

IEEE, 電子情報通信学会, エレクトロニクス実装学会

桑川 一也

○所属学会

電子情報通信学会, 日本物理学会, ACM, IEEE

白石 啓一

○所属学会

情報処理学会, 日本数式処理学会

草間 裕介

①雑誌論文

・査読有

- 草間裕介, 横井雄亮, "マイクロストリップライン回路製作実験に関する検討 - マイクロ波工学に関する学生実験のために -," 電子情報通信学会論文誌 C, Vol.J99-C, No.12, Page.646-650 (2016.12).
- Y. Kusama, R. W. Johnston, O. Hashimoto, "A Study of Waveguide Reactance Element Designs for Introductory Microwave Experiments," IEICE Electronics Express, Vol.14 (2017), No.7, pp.20160916. (DOI:10.1587/elex.14.20160916)

②学会発表

・国際会議

- Y. Kusama, R. Johnston, and O. Hashimoto, "Educational Training Program for Electromagnetic Field Simulation," International Symposium on Advances in Technology Education, 2016-ISATE-1407, pp.269-274 (2016.9).

・国内会議

- 細川裕基, 草間裕介, "テーパー線路インピーダンス変換機の特異解析に関する一検討," 電子情報通信学会技術研究報告, MW2016-145, pp.73-78 (2016.12).

○所属学会

電子情報通信学会 (IEICE), 日本工学教育協会 (JSEE), 日本物理教育学会 (PESJ)

川久保 貴史

①雑誌論文

・査読有

- 川久保貴史, 中根英章, "III族酸化物で修飾した W(100)面からの電子放射—Sc 酸化物, Pr 酸化物, Nd 酸化物による仕事関数低下現象—" 電子デバイス研究会 (ED) 「電子管と真空ナノエレクトロニクス及びその評価技術」 電子情報通信学会, 信学技報, vol. 116, no. 268, ED2016-52, pp. 41-46, 三重大学, 2016 年 10 月.

②学会発表

・国際会議

- Hideaki Nakane, Takashi Kawakubo, "Work function measurement of Hf-oxide/W(100) surface by using of photoemission electron microscope" 査読有, Vacuum Nanoelectronics Conference (IVNC), 29th International.(2016).

・国内会議

- 中根英章, 川久保貴史, "希土類 Y 酸化物で修飾した W(100)表面の PEEM および FEM による仕事関数の検討" 第 14 回真空ナノエレクトロニクスシンポジウム予稿集, 14 巻, (頁 239 ~ 242), 2017 年 03 月.

○所属学会

応用物理学会

(電子システム工学科)

長岡 史郎

①雑誌論文

・ 査読有

- 辻琢人, 長岡史郎, 大谷真弘 : 簡略化した工程を使った MOS 電界効果トランジスタ作製実験教材の開発 (査読付) 工学教育, Vol64, No.6, pp127-130, 2016.
- S. Nagaoka, T. Tsuji, M. Yamamoto, R.W.Johnston, T.Shimizu, T. Shikama: A proposal of the Simplified IC Fab Established in the Average Science Laboratory for Cultivating Scientific Mind (査読付), The Transactions of ISATE2016, The 10th International Symposium on Advances in Technology Education, 13-16 September 2016, ISATE Sendai, pp303~308, 2016.
- N.Takagaki, S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, T. Shimizu, T. Shikama: A Study of the Simplified IC FAB for the Science and Technical Education (査読付) , The Proceeding of the 6th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS2016) & 2nd International Students Seminar on Leadership and Networking (ISSLN 2016), pp161-1165, 2016.
- R.Saionji, S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, T.Shimizu, T. Shikama: A feasibility study of the selective and simultaneous thermal impurity diffusion process on the silicon substrate (査読付), The Proceeding of the 6th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS2016) & 2nd International Students Seminar on Leadership and Networking (ISSLN 2016), pp166-171, 2016.
- K.Matsuda, S.Nagaoka, Y.Kanda : Graphical Representation and Origin of Piezoresistance Effect in Germanium (査読付) , The Proceeding of the 33rd International conference on the Physics of semiconductors (ICPS2016), to be published.

②学会発表

・ 国際会議

- (Invited) S.Nagaoka, K.Shiota, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, H.Horibe, T.Shimizu: A Feasibility Study of Selective and Simultaneous Thermal Diffusions for Simplified MOS Device Fabrication, International Conference on Nanoscience & Nanotechnology 2017 (NANO-SciTech2017), The Program & Abstract Book, pp4-5, 2017.
- M.Yamamoto, S.Nagaoka, T.Shikama, H.Horibe, T.Shimizu: Measurement of Rate of Photoresist Removal by Hydrogen Radicals using Thin Film Interference, International Conference on Nanoscience & Nanotechnology 2017 (NANO-SciTech2017), The Program & Abstract Book, pp59-60, 2017(査読付).
- R.Saionji, S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, T.Shimizu, T.Shikama: A Boron Selective Thermal Impurity Diffusion Method that Support a Simplified pMOS FET Fabrication Process, NANO-SciTech2017, International Conference on Nanoscience & Nanotechnology 2017(査読付).

- N.Takagaki, **S.Nagaoka**, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston,T.Shimizu, T.Shikama: A p-n Junction Study for nMOS FET Fabrication using Alignment-less Lithography, NANO-SciTech2017, International Conference on Nanoscience & Nanotechnology 2017(査読付).
- **S.Nagaoka**, T.Tsuji, T.Shikama, M.Yamamoto, R.W.Johnson, T.Shimizu: A proposal of the Simplified IC Fab Established in the Average Science Laboratory for Cultivating Scientific Mind, The 10th International Symposium on Advances in Technology Education, 13-16 September 2016,ISATE Sendai(査読付).
- N.Takagaki, **S.Nagaoka**, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston,T.Shimizu, T.Shikama : A Study of the Simplified IC FAB for the Science and Technical Education, The 6th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS2016) & 2nd International Students Seminar on Leadership and Networking (ISSLN 2016),4-12 Oct. 2016,Indonesia(査読付).
- K.Matsuda,**S.Nagaoka**,Y.Kanda : Graphical Representation and Origin of Piezoresistance Effect in Germanium (査読付) : The 33rd International conference on the Physics of semiconductors (ICPS2016), Tu-P.151, p595 (2016).

・国内会議

- 松田和典, 檜原優希, **長岡史郎**, 神田洋三: Ge のピエゾ効果, 応用物理学会 2017 年 (平成 29 年) 春季講演会予稿集.
- **長岡史郎**: 窒化シリコン薄膜を用いた超微細デバイス用基板の作製～電子線リソグラフィの高解像度化とその応用～, 文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業微細加工プラットフォーム 第 2 回広島大学・山口大学・香川大学・FAIS 合同シンポジウム.
- 山本雅史, 梅本宏信, 大平圭介, 鹿間恭一, **長岡史郎**, 西山聖, 堀邊英夫: 水素ラジカルを用いたレジスト除去における酸素添加の効果, 2016 年度応用物理学会中四国支部 若手半導体研究会, 7 月 29 日～30 日, 2016.

⑥その他 (受賞, 研究紀要, 書籍投稿など)

- Z. Nurbaya, M.H. Wahid, M.D. Rozana, S.A.H. Alrokayan, H.A. Khan,**S. Nagaoka** and M.Rusop : Improvement of Insulative Behavior of Perovskite Structured PbTiO₃ Thin Films Prepared by Sol-gel Spin Coating Method, The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT2017), The program book of ISEENT2017,NIT Kagawa College, O-13, 24 March, 2017.
- N.E.A.Azhar, S.S.Shariffudin,Salman, A.H.Alrokayan, Haseeb A. Khan, **S.Nagaoka** and M.Rusop : Highly Conductive of MEH-PPV: ZnO Nanocomposite Thin Film at Various ZnO Composition Via Spin Coating for OLEDs Applications, The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT2017), The program book of ISEENT2017,NIT Kagawa College, O-20, 24 March, 2017.
- A.K. Shafura, I. Saurdi, N.D.Md Sin, U.M. Noor, M.H. Mamat,S.A.H. Alrokayan, H.A. Khan, **S.Nagaoka**, M. Rusop: Nanostructured ZnO Based MSM Gas Sensor, The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT2017), The program book of ISEENT2017,NIT Kagawa College, O-21, 24 March, 2017.

- R. Saionji, **S. Nagaoka**, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Jhonston, H.Horibe, T. Shimizu: Boron Selective Thermal Diffusion for the Simplified pMOS FET Fabrication Process: The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT2017), The program book of ISEENT2017,NIT Kagawa College, P-1, 24 March, 2017 (ポスター).
- R. Saionji, **S. Nagaoka**, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Jhonston, H.Horibe, T. Shimizu: A p-n Junction for the Simplified nMOS FET Fabrication using Alignment-less Lithography, The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT2017), The program book of ISEENT2017,NIT Kagawa College, P-14, 24 March, 2017.
- K.Shiota, **S. Nagaoka**,: Produciton and Evaluation of the Silicon Single Crystal p-n Junction using the Sol-Gel BSG Thin Film, The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT2017), The program book of ISEENT2017,NIT Kagawa College, P-14, 24 March, 2017.
- K.Manabe, **S. Nagaoka**, K.Shiota, F. Shimokawa : Fundamental Study of the Fabrication Process for the Micro Alloy Silicon Transistor Using Silicon Anisotropic Etching, The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT2017), The program book of ISEENT2017,NIT Kagawa College, P-14, 24 March, 2017.
- M.Yamamoto, **S.Nagaoka**, H.Horibe: Effect of Oxygen Addition on Rate of Photoresist Removal Using Hydrogen Radicals, The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT2017), The program book of ISEENT2017,NIT Kagawa College, P-14, 24 March, 2017.
- N.E.A. Azhar, Ahmad Zakwan, Bin Rodzuan, S.S. Shariffudin, Salman A.H. Alrokayan, Haseeb A.Khan, **S. Nagaoka**, M.Rusop: Low Concentration of Sn-doped ZnO Nanotetrapods Thin Film Via Doctor Blade Method: The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT2017), The program book of ISEENT2017,NIT Kagawa College, P-22, 24 March, 2017.
- **長岡史郎** : 理科室で実現するナノテクプラットフォームと技術開発教育への応用, 産業技術振興会シーズ発表会, 9月21日.

○所属学会

電子情報通信学会, 応用物理学会, I E E E

矢木 正和

①雑誌論文

・査読有

- Tomoaki Terasako, Yuki Kawasaki, Masakazu Yagi: "Growth and morphology control of β -Ga₂O₃ nanostructures by atmospheric-pressure CVD" Thin Solid Films 620, pp. 23-29 (2016).

- Jumpei Ueda, Masakazu Yagi, and Setsuhisa Tanabe: “Investigation of Luminescence and Photoacoustic Properties in Ce^{3+} -Doped $Ln_3Al_5O_{12}$ ($Ln = Lu, Y, Gd$) Garnet” ECS Journal of Solid State Science and Technology, 5 (12), pp. R219-R222 (2016).

②学会発表

・国際会議

- T. Terasako, K. Ohnishi, H. Okada, S. Obara and M. Yagi: “Selective Growth of CuO and Cu_2O Films and Fabrication of Their Heterojunctions with ZnO Nanorods by Chemical Bath Deposition” 第26回日本MRS年次大会（国際シンポジウム）, A3-P20-004, Dec 20, 2016, 横浜市開港記念館他（神奈川県横浜市）.
- T. Terasako, K. Kohno and M. Yagi: “Vapor-Liquid-Solid Growth of SnO_2 and Ga_2O_3 Nanowires by Atmospheric-pressure CVD Utilizing Alternate Source Supply” 第26回日本MRS年次大会（国際シンポジウム）, A3-P20-003, Dec 20, 2016, 横浜市開港記念館他（神奈川県横浜市）.
- Tomoaki Terasako, Kohki Kohno, and Masakazu Yagi: “Vapor-Liquid-Solid Growth of Metal Oxide Nanowires Utilizing Alternate Source Supply” The 9th International Workshop on Zinc Oxide and Related Materials, TP3, Nov.1, 2016, Taipei (Taiwan).
- Tomoaki Terasako, Yuya Ohmori, Takuya Saeki, Naoki Monden, Masakazu Yagi: “Selective preparations of CuO and Cu_2O and formations of their heterojunctions with ZnO nanorods by chemical bath deposition” The 8th International Conference On Technological Advances Of Thin Films and Surface Coatings, OFN 8493, July 14, 2016, (Singapore).
- Tomoaki Terasako, Yuya Ohmori, Takuya Saeki, Naoki Monden, Masakazu Yagi: “Preparation of Cu_2O Films by Fe-assisted Chemical Bath Deposition Technique” 43th International Conference on Metallurgical Coatings and Thin Films, FP-1, April 28, 2016, San Diego (USA).
- Tomoaki Terasako, Yuki Kawasaki, Masakazu Yagi: “Growth and Morphology Control of β - Ga_2O_3 Nanostructures by Atmospheric-pressure CVD” 43th International Conference on Metallurgical Coatings and Thin Films, C5-1-4, April 25, 2016, San Diego (USA).

・国内会議

- 寺迫智昭, 河野幸輝, 矢木正和: “原料交互供給による SnO_2 ナノワイヤーの VLS 成長とフォトルミネッセンス特性” 第64回応用物理学会春季学術講演会, 16p-P8-11, 平成29年3月16日, パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）, 予稿集 p.16-064.
- 寺迫智昭, 大西航輝, 岡田英之, 小原翔平, 河野幸輝, 矢木正和: “原料交互供給による SnO_2 ナノワイヤーの気相-液相-固相成長” 第77回応用物理学会秋季学術講演会, 14p-P10-7, 平成28年9月14日, 朱鷺メッセ（新潟県新潟市）, 予稿集 p.16-007.
- 矢木正和: “様々な形状・サイズの固体試料に適用可能な光音響セル” イノベーション・ジャパン2016-大学見本市&ビジネスマッチング, M-71, JP-40A2, 平成28年8月25-26日, 東京ビッグサイト（東京都江東区）.
- 寺迫智昭, 矢木正和: “原料交互供給法による酸化スズナノワイヤーの成長と形状制御” 電子情報通信学会電子部品・材料（CPM）研究会, 6, 2016年7月23日, 愛媛大学（愛媛県松山市）, 電子情報通信学会技術研究報告, vol.116, No.157(CPM2016 24-31), pp. 21-26 (2016).

○所属学会

応用物理学会，電子情報通信学会

三河 通男

○所属学会

応用物理学会

JOHNSTON. Robert Weston

①雑誌論文

・査読有

- Adaptability to Periodic Variable Disturbance Using Probabilistic State-Action Pair Prediction, 共著, 12/01/2016, International Journal of New Computer Architectures and their Applications (IJNCAA), Vol.6, No. 4, pp.122-131, (著者名 : Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige).
- 佐竹 直喜, ジョンストン・ロバート, 森 和憲, 「機械翻訳で出力される英文はどの程度正確か」 全国高等専門学校英語教育学会研究論集, 第 36 号, pp.21-28.
- 森 和憲, ジョンストン・ロバート, 佐竹 直喜, 「機械翻訳を利用した英文ライティング指導について-高専に置ける一事例-」 四国英語教育学会『紀要』第 36 pp.75-84. 2016 年 12 月.

②学会発表

・国際会議

- Respiration and Heartbeat Signal Measurement with A Highly Sensitive PVDF Piezoelectric Film Sensor, 共著, 11/1/2016, The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICCESS2016) Proceedings, pp.1-6, (発表者名 : Kazuhiro Yokoi, Katsuya Nakano, Kento Fujita, Shinya Misaki, Naoya Iwamoto, Masashi Sugimoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki) .
- A Study of Effectiveness of Dynamically Varying Sampling Rate for State-action Pair Prediction, 共著, 11/1/2016, The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICCESS2016) Proceedings, pp.79-87, (発表者名 : Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige) .
- Spectrum Analysis of Respiration and Heartbeat Signals Measured by A Non-Contact PVDF Piezoelectric Film Based Sensor, 共著, 11/1/2016, The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICCESS2016) Proceedings, pp.7-12, (発表者名 : Kazuhiro Yokoi, Katsuya Nakano, Kento Fujita, Shinya Misaki, Naoya Iwamoto, Masashi Sugimoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki) .
- A Study of the Simplified IC FAB for the Science and Technical Education, 共著, 10/1/2016, 6th International Symposium on Technology Sustainability (ISTS 2016) Proceedings.

- A Feasibility Study of the Selective and Simultaneous Thermal Impurity Diffusion Processes on the Silicon Substrate, 共著, 10/1/2016, 6th International Symposium on Technology Sustainability (ISTS 2016) Proceedings.
- A Study of Waveguide Reactance Element Designs for Introductory Microwave Experiments, 共著, 10/1/2016, Institute of Electronics, Information and Communication Engineers Electronic Express (ELEX), Vol.xx, No.x, Page.xx-xx (accepted on 2016.10).
- A Proposal of the Simplified IC FAB Established in the Average Science Laboratory for Cultivation Scientific Mind, 共著, 9/1/2016, 10th International Symposium on Advances in Technology Education (ISATE2016).
- Educational Training Program for Electromagnetic Field Simulation," International Symposium on Advances in Technology Education, 共著, 9/1/2016 10th International Symposium on Advances in Technology Education (ISATE2016), pp.269-274.

・国内会議

- 森 和憲 , ジョンストン・ロバート, 佐竹 直喜, 「機械翻訳を利用した英文ライティング指導について」第 28 回四国英語教育学会・高知研究大会 2016 年 6 月 18 日 高知県立大学・高知工科大学.
- 佐竹 直喜, ジョンストン・ロバート, 森 和憲 , 「機械翻訳で出力される英文ほどの程度正確か」全国高等専門学校英語教育学会 第 40 回研究大会 2016 年 9 月 4 日 国立オリンピック記念青少年総合センター.

月本 功

②学会発表

・国内会議

- 田中聖也, 月本 功, 四柳浩之, 橋爪正樹: ” 電流テストによる出力リード浮き検出時の隣接配線からの交流電界印加電圧”, 平成 28 年度電気関係学会四国支部連合大会講演論文集 p. 86, 2016 年 9 月 17 日, 徳島大学 常三島キャンパス 理工学部 共通講義棟.

○所属学会

電子情報通信学会, エレクトロニクス実装学会, 日本産業技術教育学会

天造 秀樹

②学会発表

・国際会議

- Taiki Mimoto, Hideki Tenzou, Yukiko Iwakura, Takaaki Kasuga, and Junya Kuroda, “Development of a Radiation Monitoring System Using Compact Multi- Detectors”, International Conference on Sciences, Engineering and Technology Innovations (ICSETI) 2017, 2017 年 3 月 15-17 日, Taipei, Taiwan.

- Kazuya Sakurai, Hideki Tenzou, Junya Kuroda, Takaaki Kasuga, Taiki Mimoto, “A Simulation Tool to Reproduce Radiation Decontamination by Using Glass Sand”, International Conference on Sciences, Engineering and Technology Innovations (ICSETI) 2017, 2017年3月15-17日, Taipei, Taiwan.
- Yu TERAJIMA, Hideki TENZOU, Junya KURODA, Taiki MIMOTO, Takaaki Kasuga, and Yukiko Iwakura, “Investigation for a Relationship between Dose Rate in the Air and Number of Visible Trajectories Generated by γ -rays”, Third International Conference on Systems, Science, Control, Communication, Engineering and Technology (ICSSCET), 2017年2月10日～11日, Karpagam Institute of Technology(India. Asia).
- Seiya Manabe, Hideki Tenzou, Takaaki Kasuga, Yukiko Iwakura, and Robert Johnston, “An Augmented γ -Spray System to Visualize Biological Effects for Human Body”, 13th International Conference on Radiation Shielding (ICRS-13) & 19th Topical Meeting of the Radiation Protection and Shielding Division of the American Nuclear Society (RPSD-2016), 2016年10月3-6日, NOVOTEL Paris Centre Eiffel Tower, Paris, France.

⑤その他（受賞，報道，書籍投稿など）

・受賞

- 天造秀樹，文部科学省科学技術・学術政策局長賞（パテントコンテスト・デザインパテントコンテスト），2017年1月。

・指導した学生の受賞

- SIYSS 参加者ということで国際科学技術財団主催の2017年日本国際賞(The Japan Prize Foundation)授賞式に参加（天皇皇后両陛下のご臨席の祝賀会），春日貴章，2017年4月19日。
- 独立行政法人国立高等専門学校機構主催の平成28年度独立行政法人国立高等専門学校機構学生表彰「機構理事長特別賞」，春日貴章，2017年3月17日。
- 四国地区代表として第13回キャンパスベンチャー全国大会に参加，“”音楽教筆♪””，名越 安優未，小松 優花，島崎 祐輔，安藤 樹，2017年3月16日。
- 日刊工業新聞主催の第14回キャンパスベンチャーグランプリ四国において最優秀賞 四国経済連合会会長賞（賞金30万円），“”音楽教筆♪””，名越 安優未，小松 優花，島崎 祐輔，安藤 樹，2017年2月6日。
- 日刊工業新聞主催の第14回キャンパスベンチャーグランプリ四国において特別賞 四国産業人クラブ賞（賞金5万円），楽しく，“”すべって，つながる，「Subetter」””，宮武 立彦，藤田 鈴香，國見 友亮，徳武 詩穂，2017年2月6日。
- 文部科学省，特許庁，日本弁理士会及びINPIT共催の平成28年度パテントコンテスト・デザインパテントコンテストの受賞式に参加し，パテントコンテスト大学部門で優秀賞を受賞，春日貴章，寺島祐，味元汰樹，東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE4階，平成29年1月23日。
- セルロース学会関西支部主催の第12回若手セミナー2016 in 神戸・淡路島 ベストプレゼンター賞，春日貴章，平成28年度。
- 日本学生支援機構主催の平成28年度優秀学生顕彰 学術部門「優秀賞」，春日貴章。
- スtockホルム国際青年科学セミナーSIYSS の派遣学生に採択，春日貴章，ノーベル賞授賞式など諸行事に参加したり，自身の研究発表を行った，2016年9月23日。

・報道（新聞）

- 新聞報道：第14回キャンパスベンチャーグランプリ四国における受賞に関して、日刊工業新聞 地域経済面，2017年2月21日。
- 天新聞報道：第14回キャンパスベンチャーグランプリ四国における受賞に関して、電気新聞 地域面（5面），2017年2月8日。
- 新聞報道：第14回キャンパスベンチャーグランプリ四国における受賞に関して、四国新聞 朝刊 地域面，2017年2月7日。
- 東北大学工学系女性研究者育成支援推進室主催の「明日をソウゾウするあなたへ～女性科学者への道案内～」(徳武詩穂が参加)に関する取材記事，朝日新聞 地方版，10月28日。
- 日本経済新聞（全国版） 社会面，高専海外サマースクールに関する取材記事，春日貴章，味元汰樹が参加，2016年11月6日
ストックホルム国際青年科学セミナー参加に関するメディアによる報道16件以上（途中から未記録）。
- 四国新聞，“世界の学生と交流，刺激に”，2016年12月20日。
- 日本経済新聞（全国版） 社会面，“日本人学生も授賞式に参加”，2016年12月11日。
- 朝日新聞(地域面)，“ノーベル賞授賞式 高専生初参加”，2016年12月5日。
- 朝日新聞夕刊，社会面，“ノーベル賞授賞式 日本の高専生初招待”，2016年12月3日。
- 毎日新聞(地域面)，“ノーベル賞授賞式出席へ”，2016年11月27日。
- 読売新聞(地域面)，“放射線研究評価 中四国で初”，2016年10月28日。
- 四国新聞，社会面，“ノーベル賞授賞式に春日さん出席へ”，2016年10月17日。

・報道（テレビ）

- NHK おはよう香川 朝のニュース，“高専生 授賞式参加を報告”，2016年12月20日6時55分より。
- TBS Nスタ，“「科学を文化の中核に」大隅さん記念講演，特別招待の高専生は”，2016年12月8日18:10より。
- NHK 昼のニュース，“ノーベル賞授賞式など高専生が参加へ”，2016年11月24日12時15分より。
- RSK イブニングニュース，“高専生に招待状”2016年10月19日18時15分より。

・報道（ラジオ）

- RNC 気ままにラジオ，2016年12月28日14時15分より。
- スーパーメディア 今日のカローズアップ，12月27日(火) 7:30-8:55。
- FM香川 週刊みとよ ほんまもん Radio!，2016年12月23日11:55-12:00。
- RNC 気ままにラジオ，2016年10月19日14時15分より。

・講演

- 2017年度高専フォーラムにおいて「ノーベル賞授賞式に参加して」と題して一般の人を対象に講演会（講演予定），講師 春日貴章，2017年8月21日。
- 大西・アオイ財団主催の「ノーベル賞授賞式に参加して」と題して一般の人を対象に講演会を実施，講師 春日貴章，大西・アオイ記念館，2017年3月12日。

○所属学会

日本原子力学会

森宗 太一郎

①雑誌論文

・ 査読有

- Masato Miyoshi, Taichiro Morimune, Kunihiko Tanaka“Environment Friendly CZTS Solar Cell with C60 Buffer Layer”Proceeding of 6th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS2016),査読有, 発行年 2016, pp. 298-303.

・ 査読無

- 景山弘, 林翔太郎, 長谷部大知, 石川岩道, 仲本裕介, 森宗太一郎“有機薄膜太陽電池の性能におよぼす MoO₃ 陰極バッファの効果” 査読無, 電子情報通信学会 信学技報 Vol.IEICE-116, no.2, pp.7-10, 発行日 2016-04-01.

②学会発表

・ 国際会議

- Taichiro Morimune, Asuma Kida, Hirotake Kajii “Measurement accuracy improvement of organic position-sensitive detector”12th International Conference on Nano-Molecular Electronics 2016-12.

・ 国内会議

- 景山弘, 林翔太郎, 長谷部大知, 石川岩道, 仲本裕介, 森宗太一郎“有機薄膜太陽電池の性能におよぼす MoO₃ 陰極バッファの効果”電子情報通信学会 2016 年 4 月 8 日沖縄県那覇市 (招待講演) .
- 森宗太一郎, 梶井博武 “有機位置検出センサの測定精度に関する検討” 第 77 回応用物理学会秋季学術講演会 2016 年 9 月 13 日～16 日, 新潟県新潟市.

○所属学会

応用物理学会

清水 共

①雑誌論文

・ 査読有

- N.Takagaki, S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, T.Shimizu, T.Shikama : “A Study of the Simplified IC FAB for the Science and Technical Education”, The Proceeding of the 6th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS 2016) & 2nd International Students Seminar on Leadership and Networking (ISSLN 2016), pp161-165, 2016.

- R.Saionji, S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, T.Shimizu, T.Shikama : “A Feasibility Study of the Selective and Simultaneous Thermal Impurity Diffusion Process on the Silicon Substrate”, The Proceeding of the 6th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS 2016) & 2nd International Students Seminar on Leadership and Networking (ISSLN 2016), pp166-171, 2016.

・ 査読無

- 清水共, 森優策, 長岡史郎 , “数値計算による半導体物性解析手法について 2-静電ポテンシャルと波動関数分布の関係-”, 香川高等専門学校研究紀要第7号, 99-106 (2016).

②学会発表

・ 国際会議

- S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, T.Shikama, R.W.Johnston and T.Shimizu : “A PROPOSAL OF THE SIMPLIFIED IC FAB ESTABLISHED IN THE AVERAGE SCIENCE LABORATORY FOR CULTIVATING SCIENTIFIC MIND”, Transactions of International Symposium on Advances in Technology Education 2016, pp303-308, September 2016.
- (Invited) S.Nagaoka, K.Shiota, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, H.Horibe, T.Shimizu : “Feasibility Study of Selective and Simultaneous Thermal Diffusions for Simplified MOS Device Fabrication”, International Conference on Nanoscience & Nanotechnology 2017 (NANO-SciTech 2017), The Program & Abstract Book, pp4-5, 2017.
- R.Saionji, S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, T.Shimizu, T.Shikama : “A Boron Selective Thermal Impurity Diffusion Method that Support a Simplified pMOS FET Fabrication Process”, International Conference on Nanoscience & Nanotechnology 2017 (NANO-SciTech 2017), 2017 (査読付き) .
- N.Takagaki, S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, T.Shimizu, T.Shikama : “A p-n Junction Study for nMOS FET Fabrication using Alignment-less Lithography”, International Conference on Nanoscience & Nanotechnology 2017 (NANO-SciTech 2017), 2017 (査読付き) .
- S.Nagaoka, T.Tsuji, T.Shikama, M.Yamamoto, R.W.Johnston, T.Shimizu : “A proposal of the Simplified IC Fab Established in the Average Science Laboratory for Cultivating Scientific Mind”, The 10th International Symposium on Advances in Technology Education (ISATE), 13-16 September 2016, Sendai (査読付き) .
- N.Takagaki, S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, T.Shimizu, T.Shikama : “A Study of the Simplified IC FAB for the Science and Technical Education”, The 6th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS 2016) & 2nd International Students Seminar on Leadership and Networking (ISSLN 2016), 4-12 Oct. 2016, Indonesia (査読付き) .

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

- R.Saionji, S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, H.Horibe, T.Shimizu : “Boron Selective Thermal Diffusion for the Simplified pMOS FET Fabrication Process”, The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT 2017), The program book of ISEENT2017, NIT Kagawa College, P-1, 24 March, 2017 (ポスター) .

- N.Takagaki, S.Nagaoka, T.Tsuji, M.Yamamoto, R.W.Johnston, H.Horibe, T.Shimizu : “A p-n Junction for the Simplified nMOS FET Fabrication using Alignment-less Lithography”, The International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology (ISEENT 2017), The program book of ISEENT2017, NIT Kagawa College, P-14, 24 March, 2017 (ポスター) .

○所属学会

応用物理学会, 電子情報通信学会

藤井 宏行

○所属学会

日本ロボット学会

岩本 直也

①雑誌論文

・査読有

- Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige, A Study of Predicting Ability in State-action Pair Prediction - Adaptability to An Almost-periodic Disturbance -, International Journal of Artificial Life Research (IJALR) 2017. (In Press).
- Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige, Adaptability to Periodic Variable Disturbance using Probabilistic State-Action Pair Prediction, International Journal of New Computer Architectures and their Applications (IJNCAA), vol.6 no.4, pp.122-131, 2016. DOI: 10.17781/P002215.

②学会発表

・国際会議

- Kazuhiro Yokoi, Katsuya Nakano, Kento Fujita, Shinya Misaki, Naoya Iwamoto, Masashi Sugimoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Respiration and Heartbeat Signal Measurement with A Highly Sensitive PVDF Piezoelectric Film Sensor, The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2016), Nov.14, 2016, Takamatsu Sunport Hall Building, Takamatsu.
- Kento Fujita, Katsuya Nakano, Shinya Misaki, Kazuhiro Yokoi, Naoya Iwamoto, Masashi Sugimoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Spectrum Analysis of Respiration and Heartbeat Signals Measured by A Non-Contact PVDF Piezoelectric Film Based Sensor, The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2016), Nov.14, 2016, Takamatsu Sunport Hall Building, Takamatsu.

- Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige, A Study of Effectiveness of Dynamically Varying Sampling Rate for State-action Pair Prediction, The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2016), Nov.14, 2016, Takamatsu Sunport Hall Building, Takamatsu.

・国内会議

- 横井一広, 藤田健斗, 中野克哉, 岩本直也, 三崎幸典, 林文博, 須藤昌明, 重心移動型フレームによる送電線自走機の登坂性能の向上, 平成 29 年電気学会全国大会, 平成 29 年 3 月 17 日, 富山大学 (富山県富山市) .
- 山下 由理奈, 杉本 大志, 岩本 直也, 三崎 幸典, 成績評価システムの試作と効果の考察, 2016 年度精密工学会中国四国支部山口地方学術講演会, 平成 28 年 11 月 26 日, 大島商船高等専門学校 (山口県大島郡周防大島町) .

⑤その他 (受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 中野克哉, 藤田健斗, 三崎慎也, 横井一広, 三崎幸典, 岩本直也, 離島における高齢者・在宅介護者の地域ケアシステムの開発, JST START 技術シーズ選抜育成プロジェクト[IoT 分野] Brighten Up Ventures 2017, 平成 29 年 3 月 9 日, 秋葉原コンベンションホール (東京都千代田区) .
- 藤田健斗, 中野克哉, 三崎慎也, 横井一広, 岩本直也, 三崎幸典, 送電線における電力線活線点検ロボットの開発, JST START 技術シーズ選抜育成プロジェクト[IoT 分野] Brighten Up Ventures 2017, 平成 29 年 3 月 9 日, 秋葉原コンベンションホール (東京都千代田区) .
- 横井一広, 猪木康弘, 辻亮太, 岩本直也, 三崎幸典, M2M センサシステムを活用した高齢者見守りーPVDF 高感度呼吸センサを用いた安心・安全な高齢ケアシステムー, セミコンジャパン 2016 (The 高専@SEMICON), 平成 28 年 12 月 14—16 日, 東京ビッグサイト (東京都江東区) .
- 藤田健斗, 中野克哉, 横井一広, 岩本直也, 三崎幸典, 送電線における電力線活線点検ロボットの開発, サービスロボット開発技術展 2016, 平成 29 年 5 月 26・27 日, インテックス大阪 (大阪府住吉区) .

○所属学会

応用物理学会, 電気学会

杉本 大志

①雑誌論文

・査読有

- Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige, A Study of Predicting Ability in State-action Pair Prediction - Adaptability to An Almost-periodic Disturbance -, International Journal of Artificial Life Research (IJALR) 2017. (掲載決定).

- Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige, Adaptability to Periodic Variable Disturbance using Probabilistic State-Action Pair Prediction, International Journal of New Computer Architectures and their Applications (IJNCAA), vol.6 no.4, pp.122-131, 2016. DOI: 10.17781/P002215.

②学会発表

・国際会議

- Kazuhiro Yokoi, Katsuya Nakano, Kento Fujita, Shinya Misaki, Naoya Iwamoto, Masashi Sugimoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Respiration and Heartbeat Signal Measurement with A Highly Sensitive PVDF Piezoelectric Film Sensor, The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2016), Nov.14, 2016, Takamatsu Sunport Hall Building, Takamatsu.
- Kento Fujita, Katsuya Nakano, Shinya Misaki, Kazuhiro Yokoi, Naoya Iwamoto, Masashi Sugimoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Spectrum Analysis of Respiration and Heartbeat Signals Measured by A Non-Contact PVDF Piezoelectric Film Based Sensor, The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2016), Nov.14, 2016, Takamatsu Sunport Hall Building, Takamatsu.
- Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige, A Study of Effectiveness of Dynamically Varying Sampling Rate for State-action Pair Prediction, The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2016), Nov.14, 2016, Takamatsu Sunport Hall Building, Takamatsu.
- Masashi Sugimoto, Kentarou Kurashige, A Study on the Deciding an Action Based on the Future Probabilistic Distribution, Intelligent Robotics and Applications, Proceedings, Part II, 383-394, Springer LNAI, Aug.23, 2016, Tokyo Metropolitan University, Tokyo. DOI: DOI:10.1007/978-3-319-43518-3.

・国内会議

- 杉本 大志, 倉重 健太郎, 周期的変化をもつ路面に於ける 状態行動対予測による姿勢安定化についての検討, 2016年度精密工学会中国四国支部山口地方学術講演会, 平成28年11月26日, 大島商船高等専門学校(山口県大島郡周防大島町)。
- 山下 由理奈, 杉本 大志, 岩本 直也, 三崎 幸典, 成績評価システムの試作と効果の考察, 2016年度精密工学会中国四国支部山口地方学術講演会, 平成28年11月26日, 大島商船高等専門学校(山口県大島郡周防大島町)。

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 2016年度精密工学会中国四国支部山口地方学術講演会優秀講演賞, 平成28年11月26日, 公益社団法人精密工学会中国四国支部(周期的変化をもつ路面に於ける状態行動対予測による姿勢安定化についての検討)。

○所属学会

精密工学会, 日本ロボット学会, IEEE, 日本工学教育協会

(情報工学科)

松下 浩明

②学会発表

・国内会議

- 中村駿, 関口晃樹, 松下浩明, “身体の動きを対象とした小学生プログラミング教育用ツール“, 情報処理学会全国大会, 2017年3月, 名古屋.

○所属学会

情報処理学会, 電子情報通信学会

福間 一巳

①雑誌論文

・査読無

- 福間一巳, “ローレンツゲージ場のベクトル成分の真空期待値“, 香川高等専門学校研究紀要 第7号 (2016), 115.

○所属学会

日本物理学会, 日本数式処理学会

宮武 明義

②学会発表

・その他

- 宮武明義, “小・中学校で運用可能な e-ラーニングシステムの開発“, 香川高等専門学校シーズ発表会, リーガホテルゼスト高松, 2016年9月21日.

○所属学会

情報処理学会, 電子情報通信学会, 教育システム情報学会

徳永 修一

①雑誌論文

・査読無

- 徳永修一, 上林聖也, 近藤祐史:” 道具の扱い方の評価法に関する研究“, 香川高等専門学校研究紀要第7号, pp.107-113, 2016年6月.

②学会発表

・国際会議

- Shuichi Tokunaga, Yuji Kondoh, Ryuuuya Kashihara, Hirokazu Osaki: “A Study on Measurement Method of Position of Sculpture Material for Virtual Sculpture System”, Proceedings of the 13th International Conference on Industrial Management, pp.702-709, Sept. 2016, JMS Aster Plaza (Hiroshima City, Hiroshima Prefecture).

・国内会議

- 徳永修一, 近藤祐史, 柏原龍弥, 大崎絃一: ”彫刻材料の位置測定法に関する研究”, 平成28年度電気関係学会四国支部連合大会講演論文集, p. 74, 2016年9月17日, 徳島大学大学(徳島県徳島市).

○所属学会

日本機械学会, 日本経営工学会, ヒューマンインタフェース学会, 情報処理学会

河田 進

○所属学会

電子情報通信学会, 情報処理学会, 教育情報システム学会

鱈目 正志

○所属学会

情報処理学会

河田 純

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

・学術講演, ポスターセッション

- ヘリウム高密度プラズマ中でのスペクトル形状と占有密度のダイナミクスに関する数値計算(著者名: 川染勇人, 河田純) 第12回先端工学研究発表会(香川大学工学部主催の研究発表会) 平成29年1月23日(月)13時50分~, 香川大学工学部キャンパス3号館3階3301講義室他.

○所属学会

プラズマ核融合学会, 日本物理学会, 応用物理学会, 電子情報通信学会, 電気学会

金澤 啓三

①雑誌論文

・査読有

- Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige, "A Study of Predicting Ability in State-action Pair Prediction - Adaptability to An Almost-periodic Disturbance -", International Journal of Artificial Life Research (IJALR) 2017. (掲載決定).
- Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige, "Adaptability to Periodic Variable Disturbance using Probabilistic State-Action Pair Prediction", International Journal of New Computer Architectures and their Applications (IJNCAA), vol.6 no.4, pp.122-131, 2016. DOI: 10.17781/P002215.
- 中村篤博, 成田祥, 金澤啓三, 植松光夫, "瀬戸内海沿岸部における大気エアロゾル中の有機態窒素", エアロゾル研究, Vol.32, No.1, pp.4-13, 2017. DOI: 10.11203/jar.32.4.

②学会発表

・国際会議

- Kazuhiro Yokoi, Katsuya Nakano, Kento Fujita, Shinya Misaki, Naoya Iwamoto, Masashi Sugimoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, "Respiration and Heartbeat Signal Measurement with A Highly Sensitive PVDF Piezoelectric Film Sensor", The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2016), Nov.14, 2016, Takamatsu Sunport Hall Building, Takamatsu.
- Kento Fujita, Katsuya Nakano, Shinya Misaki, Kazuhiro Yokoi, Naoya Iwamoto, Masashi Sugimoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, "Spectrum Analysis of Respiration and Heartbeat Signals Measured by A Non-Contact PVDF Piezoelectric Film Based Sensor", The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2016), Nov.14, 2016, Takamatsu Sunport Hall Building, Takamatsu.
- Masashi Sugimoto, Naoya Iwamoto, Robert W. Johnston, Keizo Kanazawa, Yukinori Misaki, Kentarou Kurashige, "A Study of Effectiveness of Dynamically Varying Sampling Rate for State-action Pair Prediction", The Second International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2016), Nov.14, 2016, Takamatsu Sunport Hall Building, Takamatsu.

・国内会議

- 山崎啓太, 金子高大, 瀧下祥, 東山幸弘, 山下昂太, 鈴木浩司, 金澤啓三, "SCREEN feels AIR. : 風の入力インターフェースの開発", 平成 28 年度計測自動制御学会四国支部学術講演会, 2016 年 11 月 19 日, 徳島大学常三島キャンパス(徳島県).

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

- DiS わあるど in 四国たかまつに出展, "風を活用したインタラクションシステム「SCREEN feels AIR」", 2016 年 7 月 20-21 日, サンメッセ香川.

- G7 香川・高松情報通信大臣会合開催記念「ICT 見本展(主催：香川県)」に出展，“インタラクティブシステム「SCREEN feels AIR」”，2016年4月28-30日，サンポート高松。

○所属学会

電子情報通信学会

近藤 祐史

①雑誌論文

・査読有

- 近藤祐史，大墨礼子，村尾裕一，“齋藤友克：3変数陰関数描画の実装について”，日本数式処理学会，数式処理，第23巻第1号，pp.20～29，2017.
- 北村竜之介，大墨礼子，近藤祐史，村尾裕一，齋藤友克，“数式処理での行列式演算における演算速度と速度要因に関する考察”，日本数式処理学会，数式処理，第23巻第1号，pp.10～19，2017.

・査読無

- 徳永修一，上林聖也，近藤祐史：“道具の扱い方の評価法に関する研究”，香川高等専門学校研究紀要第7号，pp.107-113，2016年6月.

②学会発表

・国際会議

- Shuichi Tokunaga, Yuji Kondoh, Ryuuuya Kashihara, Hirokazu Osaki: “A Study on Measurement Method of Position of Sculpture Material for Virtual Sculpture System”, Proceedings of the 13th International Conference on Industrial Management, pp.702-709, Sept. 2016, JMS Aster Plaza (Hiroshima City, Hiroshima Prefecture).

・国内会議

- 近藤祐史，大墨礼子，村尾裕一，齋藤友克，“陰関数描画における描画関数の改良”，日本数式処理学会合同分科会にて発表，2017年1月22日.
- 徳永修一，近藤祐史，柏原龍弥，大崎絃一：“彫刻材料の位置測定法に関する研究”，平成28年度電気関係学会四国支部連合大会講演論文集,p.74，2016年9月17日，徳島大学大学（徳島県徳島市）.

○所属学会

日本数式処理学会，日本応用数理学会，情報処理学会，人工知能学会

奥山 真吾

②学会発表

・国内会議

- 奥山真吾, Construction of the space of intervals with partially summable labels, 「非可換代数幾何学の大域的問題とその周辺」高知小研究集会, 平成 28 年 12 月 17 日, 高知大学.
- 奥山真吾, 島川和久, 部分的モノイドにラベルをもつ区間の配置空間の構成, 日本数学会 中国・四国支部例会, 平成 29 年 1 月 22 日, 愛媛大学.

○所属学会

日本数学会

川染 勇人

①雑誌論文

・査読有

- H. Kawazome and S. Namba, “Numerical study of spectral line shapes in high-density He plasmas”, Plasma and Fusion Research, Vol.11 (2016) pp.2401124-1~2401124-4.

②学会発表

・国際会議

- R. Yano, H. Kawazome, M. Kaneko, S. Kado, K. Shirahase, N. Nishino and T. Mizuuchi, “Development of an algorithm for tomographic reconstruction of HeI radiation distribution in Heliotron J”, The 7th International Symposium of Advanced Energy Science (Kyoto, Japan, 5-7 September, 2016) ZE28B-22.
- H. Kawazome and S. Namba, “Numerical Calculation of Gain Coefficients of Recombination X-Ray Laser in a Cluster Plasma”, The 15th International Conference on X-Ray Lasers (Nara, Japan, 22-27, May, 2016) P-25.

・国内会議

- 白波瀬 一貴, 門 信一郎, 川染 勇人, 金沢 友美, 他, “ヘリオトロンJにおける制動放射スペクトルによる真空紫外分光システムの分光感度較正法の検証”, 第 33 回プラズマ核融合学会年会 (東北大学青葉山キャンパス, 2016.11.29-12.2) 01aP32.

○所属学会

プラズマ核融合学会

篠山 学

①雑誌論文

・ 査読有

- Manabu Sasayama and Kazuyuki Matsumoto, Retrieving Vaguely Remembered Lyrics Using N-Gram Edit Distance, International Journal of Advanced Intelligence, pp.1-11, Volume 8, Number 1, May 2016.

②学会発表

・ 国際会議

- Kazuyuki Matsumoto, Manabu Sasayama, Kohsuke Miyauchi, Minoru Yoshida and Kenji Kita, Lyric Retrieval System Based on Word's Intimacy Value, 2nd Information Technology and Mechatronics Engineering Conference (ITOEC 2016), pp.84-87, April 2016.

・ 国内会議

- 大谷 優果, 篠山 学, 聞き返しに対する誤聴箇所への推定, FIT2016 (第15回情報科学技術フォーラム) 第3分冊, pp.305-308, 2016年9月.

○所属学会

情報処理学会, 言語処理学会

(一般教育科)
(高松)

河野 通弘

○所属学会

日本刑法学会, 日本法政学会

谷口 浩朗

①雑誌論文

・査読有

- Hiroaki Taniguchi, Bilinear dual hyperovals from binary commutative presemifields, *Finite Fields and Their Applications* 42 (2016) 93–101.
- Hiroaki Taniguchi, On some bilinear dual hyperovals, *Discrete Mathematics* 340 (2017) 3154–3166.

②学会発表

・国際会議

- Hiroaki Taniguchi, Bilinear dual hyperovals from binary commutative presemifields, *Combinatorics 2016*, 28 May 2016, Maratea, Italy.
- Hiroaki Taniguchi, Dual Hyperovals from Commutative Presemifields, 48th Southeastern International Conference on Combinatorics, Graph Theory & Computing, 9 March 2017, Florida Atlantic University, Boca Raton, USA.

・国内会議

- 谷口浩朗, 3つの半体から構成される dual hyperoval について, 研究集会「有限幾何とその周辺」2016年9月4日, 東京女子大学.
- 谷口浩朗, Bilinear でない高次元双対超卵形の例, 研究集会「有限幾何とその周辺」2017年3月24日, 東京女子大学.

○所属学会

日本数学会

坂本 具償

①雑誌論文

・ 査読無

- 坂本具償・財木美樹 「張之洞『輪軒語』訳註（三）」 独立行政法人国立高等専門学校機構香川高等専門学校研究紀要 7(2016) 1頁～51頁.

○所属学会

日本中国学会, 東方学会, 哲学会, 中国社会文化学会, 佐賀大学国語国文学会

高橋宏明

岡野 寛

①雑誌論文

・ 査読有

- 岡野寛, 遠藤友樹: 高等専門学校における大人数講義の実施と教育的効果, 工学教育, 64(11), pp.69-74,2016.
- 岡野寛, 遠藤友樹, 佐藤文敏: 学生寮における学習会の積極的实施とチュータ制度導入, 工学教育, 64(11), pp.117-121,2016.

②学会発表

・ 国際会議

- ○T. Endo, H. Okano, T. Kitamura, S. Takai, T. Yabutsuka and T. Yao: “Lattice Energy Calculation for Li Inserted Graphite at Relaxation Process.” , PRiME 2016/230th ECS Meeting (October 2-7, 2016).
- ○M. Yamamoto, H. Okano, K. Yamada, S. Takai, T. Yabutsuk and T. Yao: “Relaxation Analysis of Electrochemically Lithium Inserted γ -Fe₂O₃ By Using a Solid-State Li NMR.” , PRiME 2016/230th ECS Meeting (October 2-7, 2016).

・ 国内会議

- 岡野 寛, 八尾 健, 栗原健太, 三崎伸也, 細川敏弘, 幸 哲也: “天然膨張黒鉛シートを正極とした金属空気電池, 第 18 回化学電池材料研究会, 2016 年 6 月.
- 岡野 寛, 栗原健太, 三崎伸也, 細川敏弘, 幸 哲也: “天然膨張黒鉛シートを正極とした金属空気電池の作製とエネルギー教育への利用Ⅲ, 第 76 回応用物理学会学術講演会, 14a-P1-19, 2016 年 9 月.
- 中村優太, 岡野 寛, 平川亘紀, 細川敏弘, 大國友行, 井上崇: “天然膨張黒鉛シートを正極とした金属空気電池の作製とエネルギー教育への利用Ⅳ, 第 64 回応用物理学会春季学術講演会, 16a-P1-39, 2017 年 3 月.

④産業財産権

- 八尾健, 岡野寛 他 特願第 2017-032569 号 共同研究進行中につき詳細は省略.
- 岡野寛, 棧敷剛, 出口三徳, 谷本貞夫, 韓国特許第 10-1605436 号 “被覆配線からの銅の抽出方法” .
- 岡野寛, 棧敷剛, 出口三徳, 谷本貞夫, 香港特許第 NK1198965 号 “被覆配線からの銅の抽出方法” .

○所属学会

応用物理学会, 日本化学会, 日本セラミックス協会

田口 淳

○所属学会

日本教育学会, 国際ヘルバルト学会

中瀬 巳紀生

○所属学会

日本体育学会, バレーボール学会

伊藤 喜久代

②学会発表

・国際会議

- Kikuyo Ito, Acoustic analysis on before- and after-training English speeches by a male Japanese high-school student, 5th Joint Meeting of the Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan, Honolulu, Hawaii (アメリカ).

○所属学会

日本音声学会, 日本音響学会, 日本第二言語習得学会, 全国英語教育学会, 四国英語教育学会

澤田 功

①雑誌論文

・査読有

- 澤田 功: “水平な円周上での二体の多重衝突と多重貫通”, 物理教育通信 (物理教育研究会), 第 165 号, 頁 51-61, 2016 年 7 月.
- 澤田 功: “第一宇宙速度と水平線までの距離”, 物理教育通信 (物理教育研究会), 第 167 号, 頁 41-43, 2017 年 2 月.

⑤その他（受賞，報道，書籍投稿など）

・受賞

- 第13回日本物理学会 Jr.セッション奨励賞の指導。
日時場所：平成29年3月18日（土）大阪大学豊中キャンパス大阪大学会館
発表題目：自然放射線（ γ 線）の連続400回測定とポアソン分布の数理的再現実験
発表者：三笥憲伸，小林千真，大木悠吾

・地域連携

- 平成28年4月から10月まで「高松市こども未来館展示製作用務の監修員」.
- 平成28年11月から平成29年3月まで「高松市こども未来館学習支援員」.

○所属学会

日本物理学会，日本物理教育学会，米国物理教員協会

橋本 典史

①雑誌論文

・査読有

- 橋本典史：“パズルアサイメント法を用いた NMR スペクトルの解析方法”，日本高専学会誌，第21号，2016年4月，47-52.

・査読無

- 橋本典史：“イオン濃度の理論を用いた分析化学問題の解法”，香川高等専門学校研究紀要，第7号，2016年6月，53-57.
- 橋本典史：“高等学校の有機化学の誤りを正すアセチレンからエチレンへ”，香川高等専門学校研究紀要，第7号，2016年6月，59-60.
- 橋本典史：“酸素を含有する有機化合物を特定する一般的かつ有効な分析方法”，香川高等専門学校研究紀要，第7号，2016年6月，61-64.

②学会発表

・国内会議

- 橋本典史：“新規次元解析法を用いる化学計算”，日本科学教育学会 第40回年会(ホルトホール大分 大分市)，1G2-D5，2016年8月.

○所属学会

日本化学会，有機合成化学協会，日本高専学会，日本科学教育学会.

吉澤 恒星

①雑誌論文

・ 査読有

- 十河宏行, 逸見知弘, 吉澤恒星, 南部彰伸, 平山大貴:動作解析を用いた野球打撃動作における技術差の定量的比較, 電気学会論文誌C 電子情報システム部門, Vol. 137, No. 1, pp. 60-67, 2017.
- 逸見知弘, 十河宏行, 吉澤恒星, 奥谷健太, 平山大貴:下半身の筋パワー変化に着目したバットスイングの巧拙比較, 電気学会論文誌C 電子情報システム部門, Vol. 137, No. 1, pp. 68-75, 2017.

②学会発表

・ 国際会議

- Daiki Hirayama, Kosei Yoshizawa, Hiroyuki Sogo and Tomohiro Henmi:Quantitative Comparison of Technical differences in Baseball Batting Motion by Motion Analysis, Proc. of 2016 International Conference on Advanced Mechatronic Systems, ThuP01-02, Melbourne, 2016.11.30-12.3.

・ 国内会議

- 佐々木弘樹, 平山大貴, 十河宏行, 逸見知弘, 吉澤恒星 :バットスイングにおける特徴量を用いた貢献度の比較, 電気学会 電子・情報・システム部門 制御研究会「人間の技能データの計測・解析・評価および制御技術一般」, CT-17-033, 2017年3月25日, 愛媛大学(愛媛) .
- 佐々木弘樹, 十河宏行, 逸見知弘, 吉澤恒星 :バットスイングにおける床反力と姿勢に着目した選手の特徴量抽出, 平成 28 年 電気学会 電子・情報・システム部門大会講演論文集, pp. 337-340, 2016年8月31日-9月3日.

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 野球部関連(大会など, 高野連監督部会幹事就任) 四国新聞社.

○所属学会

日本体育学会, 電気学会

長原 しのぶ

①雑誌論文

・ 査読無

- 長原しのぶ「「彼は昔の彼ならず」論」(山内祥氏編『太宰治研究 24』, 和泉書院, 2016・6) p 105-113.
- 長原しのぶ「太宰治「花火」論—〈日大生殺し事件〉作品化の意図—」(「日本文藝研究」第六十八巻特別号, 関西学院大学日本文学会, 2017・3) p 63-79.

②学会発表

・国内会議

- 長原しのぶ「遠藤周作『決戦の時』論」(日本キリスト教文学会中国支部大会, 2016・11・20, ノートルダム清心女子大学(岡山県)).

○所属学会

日本近代文学会, 昭和文学会, 日本キリスト教文学会, 全国大学国語国文学会, 阪神近代文学会, 遠藤周作学会

與田 純

○所属学会

日本西洋史学会, 教育史学会, 文化史学会

市川 研

②学会発表

・国内会議

- 市川研 (2016) 「英文法授業における能動的学習の試み - 2 クラス合同授業を視野に入れて -」(単) 2016 年 9 月 4 日 H28 年度 COCET 研究大会 於 国立オリンピック記念青少年総合センター.

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 市川研 (2016) 「能動的学習を取り入れた英語科での合同授業 - 学び合いの試み -」2016 年 11 月 29 日 平成 28 年度香川高等専門学校「教育実践事例報告会」(於 詫間キャンパス).
- 市川研 (2016) 「英文法授業における能動的学習の試み - 2 クラス合同授業を視野に入れて -」2016 年 9 月 The Council of College English Teachers 全国高等専門学校英語教育学会 第 40 回研究大会要綱 p. 49. (発表要旨).
- 市川研 (2016) 「能動的学習を取り入れた英語科での合同授業 - 学び合いの試み -」2014 年 11 月 平成 28 年度香川高等専門学校「教育実践事例報告会予稿集」pp. 13-14. (発表要旨).

○所属学会

外国語教育メディア学会, 日本アジア英語学会, 全国英語教育学会, 中武地区英語教育学会

星野 歩

○所属学会

日本数学会

佐藤 文敏

①雑誌論文

・査読有

- 岡野 寛, 遠藤 友樹, 佐藤 文敏 「学生寮における学習会の積極的実施とチュータ制度導入」工学教育 2016-11 vol. 64 no. 6, 117-121.

⑤その他

- 佐藤 文敏「小テストを利用したアクティブラーニング」平成 28 年度教育実践事例報告会

遠藤 友樹

○所属学会

日本物理学会正会員

鳥羽 素子

①雑誌論文

・査読有

- 鳥羽素子(2017, 3 月). 「チャンクの定着を意識した言語活動が日本人初級英語学習者の文産出にもたらす効果」『言語情報学研究』第 13 号 : 31-39.

②学会発表

・国内会議

- 鳥羽素子「チャンクを意識した言語活動が日本人英語学習者の文産出に及ぼす効果」ことばの科学会, 2017 年 1 月 15 日, 関西学院大学梅田キャンパス.

○所属学会

関西英語教育学会, 外国語教育メディア学会, ことばの科学会

徳永 慎太郎

(一般教育科)

(詫間)

出淵 幹郎

南 貴之

①雑誌論文

・査読無

- 上原 成功, 橋本 竜太, 南 貴之「訪問キャンパス数学の授業進度改善への取り組み」, 香川高等専門学校研究紀要, 第7号, 2016年, p. 75~80.

○所属学会

日本数学会

内田 由理子

①雑誌論文

・査読有

- 企業の女性技術者活用状況および女子学生支援の進展と課題, 内田由理子, 鱈目正志, 向谷光彦, 今岡芳子, 日本高専学会第22回年会講演論文集, pp9-10, (査読あり), 2016.

②学会発表

・国内会議

- 企業の女性技術者活用状況および女子学生支援の進展と課題, 内田由理子, 鱈目正志, 向谷光彦, 今岡芳子, 日本高専学会第22回年次大会, (2016.8.27).
- 高専が発信するロールモデルー女性技術者・工学系女子学生一, 三橋和彦, 内田由理子, 阿部恵, 浦家淳博, 大槻香子, 角谷英則, 山本孝子, 日本工学教育協会第63回年次大会, (2016.9.5).

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

・招待講演

- 男女共同参画社会 工学系学生のキャリアデザイン, 内田由理子, 新居浜工業高等専門学校第3学年キャリア講演会, 2016.11.9.
- 男女共同参画社会 工学系学生のキャリアデザイン, 内田由理子, 新居浜工業高等専門学校第3学年キャリア講演会, 2016.11.14.
- 今, 女性活躍推進の時代, 技術者としての人生設計を考えてみよう, 内田由理子, 女子学生キャリア講演会, 2016.12.8.
- 私が技術者として輝きつづけるために~お金・人生設計・仕事を続けられる知恵~, 内田由理子, 木更津工業高等専門学校, 女子学生キャリア講演会, 2016.12.26.

- 女子キャリア教育のあり方～増える女性学生への対応～，内田由理子，和歌山工業高等専門学校，男女共同参画推進講演会，2017.1.18.
- 変革する技術職現場でのキャリア形成～男女共同参画の視点から～，内田由理子，函館工業高等専門学校，男女共同参画推進講演会（女子学生対象），2017.1.22.
- 女子キャリア支援の成果と課題～男女共同参画の視点から～，内田由理子，函館工業高等専門学校，男女共同参画推進講演会（教職員対象），2017.1.22.
- 知っておいて欲しい男女共同参画～変革する技術職現場，輝き続ける技術者になるために～内田由理子，長岡工業高等専門学校，3年生合同特別活動講演会，2017.2.23.
- 女性活躍推進の今～期待される女性技術者のキャリア形成とは？～，内田由理子，女子学生のためのキャリア形成に関する講演会，仙台高等専門学校広瀬キャンパス，2017.2.27.
- 女性活躍推進の今～期待される女性技術者のキャリア形成とは？～，内田由理子，女子学生のためのキャリア形成に関する講演会，仙台高等専門学校名取キャンパス，2017.2.28.
- 女子学生へのキャリア教育～女子卒業生のキャリア形成と，学生の就労継続意識を中心に～，内田由理子，男女共同参画推進講演会，仙台高等専門学校名取キャンパス，2017.2.28.

・外部資金への応募関係

- 継続研究 研究分担者として研究の実施
科学研究費基盤研究（A）平成 25 年度～平成 29 年度
「キャリア・職業教育による高等教育の機能的分化と質保証枠組みに関する研究」.

○所属学会

日本史研究会，全国社会科教育学会，日本高専学会，日本女性学会，日本キャリア教育学会

東城 敏毅

○所属学会

萬葉学会，上代文学会，美夫君志会，全国大学国語国文学会

有馬 弘智

畑 伸興

○所属学会

COCET

富士原 伸弘

①雑誌論文

・ 査読無

- 独立行政法人国立高等専門学校機構香川高等専門学校研究紀要 第7号, 2016年6月, 「アクル」についての考察, p81~86.

○所属学会

古事記学会, 古代文学会, 國學院大學国文学会

橋本 竜太

上原 成功

①雑誌論文

・ 査読無

- 上原成功, 橋本竜太, 南貴之, “詫間キャンパス数学の授業進度改善への取り組み”, 査読なし, 香川高専研究紀要, 第7号, 2016年, 75- 80.

○所属学会

日本数学会

森 和憲

①雑誌論文

・ 査読有

- 佐竹 直喜, ジョンストン・ロバート, 森 和憲, 「機械翻訳で出力される英文はどの程度正確か」 全国高等専門学校英語教育学会研究論集, 第36号, pp.21-28.
- 森 和憲, ジョンストン・ロバート, 佐竹 直喜, 「機械翻訳を利用した英文ライティング指導について-高専に置ける一事例-」 四国英語教育学会『紀要』第36号 pp.75-84. 2016年12月.

②学会発表

・ 国内会議

- 森 和憲, ジョンストン・ロバート, 佐竹 直喜, 「機械翻訳を利用した英文ライティング指導について」 第28回四国英語教育学会・高知研究大会 2016年6月18日 高知県立大学・高知工科大学.
- 佐竹 直喜, ジョンストン・ロバート, 森 和憲, 「機械翻訳で出力される英文はどの程度正確か」全国高等専門学校英語教育学会 第40回研究大会 2016年9月4日 国立オリンピック記念青少年総合センター.

- 英語で英語を教える:「英語ができる」エンジニア規制のための事例報告と意見交換 コーディネータ
全国高等専門学校英語教育学会 第40回研究大会 2016年9月4日 国立オリンピック記念青少年
総合センター.

③図書

- Fundamental Science in English 1 理工系学生のための基礎英語 I 成美堂 全117頁(亀山太一他
監修, 森 和憲他10名)

○所属学会

全国高等専門学校英語教育学会(理事), 四国英語教育学会(理事), 全国英語教育学会,
外国語教育メディア学会

水野 知津子

○所属学会

全国英語教育学会(JASELE), 関西英語教育学会(KELES), 外国語教育メディア学会(LET), 英語授業
研究学会, 環太平洋応用言語学会(PAAL), より良い英語教育を考える会

横山 学

⑥その他(受賞, 研究紀要, 書籍投稿など)

- 『ふれ愛夜市2016』(観音寺市)イベント内でのストリート棒高跳びの実施 9月24日.
- 全国高専大会において棒高跳びで2年連続で優勝した荻田比呂(4年電子), 6位入賞した木村
拓文(1年通信)を指導.
- 出前講座 『棒高跳び教室』(観音寺市立観音寺中学校) 3月8日.

○所属学会

日本陸上競技学会, 日本コーチング学会

中村 篤博

①雑誌論文

・査読有

- 中村篤博, 成田祥, 金澤啓三, 植松光夫, 瀬戸内海沿岸部における大気エアロゾル中の有機態
窒素, エアロゾル研究, 32(1), 4-13(2017).

②学会発表

・国内会議

- 中村篤博, 成田祥, 金澤啓三, 植松光夫, 瀬戸内海沿岸部における大気エアロゾル中の有機態窒素, 平成 28 年度エアロゾル科学・技術討論会, 大阪.

⑤その他(受賞, 報道, 書籍投稿など)

- 平成 28 年度東京大学大気海洋研究所 外来研究員, 「瀬戸内海沿岸部における大気中の窒素成分と沈着に関する研究」.
- 研究室紹介 香川高等専門学校 詫間キャンパス 一般教育科(化学) 准教授 中村篤博 研究室, 大気環境学会誌, 51(5)(2016).

○所属学会

日本海洋学会, 日本地球化学会, 大気環境学会, 日本エアロゾル学会

黒木 経秀

①雑誌論文

・査読有

- T. Kuroki and F. Sugino, “One-point functions of non-SUSY operators at arbitrary genus in a matrix model for type IIA superstrings,” Nucl. Phys. **B 919** (2017) 325-358
doi:10.1016/j.nuclphysb.2017.03.018.

②学会発表

・国際会議

- Tsunehide Kuroki, “Correlation functions of non-SUSY operators at arbitrary genus in a matrix model for noncritical superstrings,” Workshop on String and M-theory in Okinawa, Mar. 9 (2017), Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University (OIST) (Okinawa・Kunigami).
- (招待講演) Tsunehide Kuroki, “Correlation functions of non-SUSY operators at arbitrary genus in a matrix model for noncritical superstrings,” KEK Theory Workshop 2016, Dec. 7 (2016), HIGH ENERGY ACCELERATOR RESEARCH ORGANIZATION, KEK (Ibaraki・Tsukuba).
- Tsunehide Kuroki, “Correlation functions at arbitrary genus in noncritical superstring theory,” YITP Workshop Strings and Fields 2016, Aug. 11 (2016), Yukawa Institute for Theoretical Physics (Kyoto・Kyoto).

・国内会議

- 黒木経秀, Large order behavior and resurgence in correlation functions of non-SUSY operators in matrix model for noncritical superstrings, 日本物理学会 第 72 回年次大会, 2017 年 3 月 18 日, 大阪大学 (大阪府・豊中市) .

- 黒木経秀, Existence of new nonperturbative nonlocal field theory on noncommutative space and spiral flow in renormalization group analysis of matrix model, 四国セミナー, 2016年12月4日, 徳島大学(徳島県・徳島市) .
- 黒木経秀, 超対称行列模型における超対称不変でない多点関数の摂動級数, 日本物理学会 2016年秋季大会, 2016年9月21日, 宮崎大学(宮崎県・宮崎市) .

○所属学会

日本物理学会

山岡 健次郎

③図書

- 「難民不在の『難民研究』」, 駒井洋監修, 人見泰弘編, 『難民問題と人道理念の危機 <移民・ディアスポラ研究6>』(明石書店, 2017年出版予定) 所収.

4.3 外部研究費受入

4.3.1 科学研究費

応募・採択状況（平成28年度）

研究種目名	高 松		詫 間		合 計	
	申請	採択	申請	採択	申請	採択
基盤研究（A）						
基盤研究（B）	1(1)	(1)			1(1)	(1)
基盤研究（C）	31(3)	5(3)	26(2)	4(2)	57(5)	9(5)
挑戦的萌芽研究	7(1)	(1)	15(1)	1(1)	22(2)	1(2)
若手研究（A）	(1)	(1)	1		1(1)	(1)
若手研究（B）	8(1)	(2)	2(3)	1(2)	10(4)	1(4)
研究活動スタート支援	1(1)	(1)	2		3(1)	(1)
奨励研究	10	1	7	2	17	3
合計	58(8)	6(9)	53(6)	8(5)	111(14)	14(14)

※申請数には継続申請は含まない。（ ）内に外数で継続を示す。

採択者

研究代表者	研究題目	研究種目	交付額（千円）	
			直接経費	間接経費
嶋崎 真一	電場と磁場の同時印加による太陽電池用均一径シリコン球の製造およびその結晶性制御	若手研究(A)	2,057	
天造 秀樹	スプレー型コントローラーを用いた放射線生物影響教育ツール	基盤研究(C)	700	210
谷口 浩朗	高次元の dual hyperoval と関連する有限体上の関数	基盤研究(C)	600	180
草間 裕介	RF デザインエンジニア育成プログラムの開発	若手研究(B)	1,100	330
八尾 健	リチウムイオン二次電池電極材料の緩和解析	基盤研究(B)	500	150
高城 秀之	アドホック/センサーネットワークの技術を応用したタブレット教育環境の構築	基盤研究(C)	2,300	690

太良尾 浩生	電磁調理器による漏れ磁界と接触電流の実態調査に基づいたドシメトリ研究	基盤研究(C)	1,300	390
伊藤 勉	非固溶性不純物原子が転位の溶質雰囲気引きずり運動と熱間延性に及ぼす影響の解明	基盤研究(C)	500	150
石井 耕平	付け爪を応用した無拘束実時間心拍モニタリングデバイスの開発と在宅医療への展開	挑戦的萌芽研究	500	150
森宗 太郎	位置検出型有機フルカラーイメージセンサの開発	挑戦的萌芽研究	500	150
藤井 宏行	物理学学習のための3Dシリアスゲーム教材の開発	若手研究(B)	400	120
逸見 知弘	グレブナー基底に基づいたモデル予測制御系の最適設計パラメータ決定法の開発	若手研究(B)	700	210
上代 良文	コンピテントエンジニア育成志向の先端実験流体力学研究の実践と広域工学教育への適用	基盤研究(C)	1,700	510
長岡 史郎	理科室で構築するナノテクプラットフォーム	基盤研究(C)	1,600	480
JOHNSTON ROBERT	高専一貫教育に適合させた英語自律学習支援システムの開発と教育効果の検証	基盤研究(C)	2,000	600
星野 歩	Macdonald 多項式の明示的公式と付随する代数構造の研究	基盤研究(C)	950	285
野村 大輔	ミュオン精密物理で切り拓く次世代素粒子標準模型への道	基盤研究(C)	1,100	330
黒木 経秀	非摂動的弦理論の高次摂動級数と非摂動効果から見える基本的自由度と超対称性の破れ	基盤研究(C)	800	240
漆原 史朗	広帯域センサレス力制御ロボットによる熟練者技能の触覚力覚クラウドシステムの開発	基盤研究(C)	950	285
宮崎 耕輔	地方部における地域公共交通計画立案のための交通系ビッグデータの活用	基盤研究(C)	1,500	450
村上 幸一	アイカメラを用いた農作業技術継承マニュアルの提案	基盤研究(C)	1,200	360
森 和憲	機械翻訳を利用した英文ライティング指導方法に関する研究	挑戦的萌芽研究	280	84
篠山 学	会話ロボットとの自由な対話に資するコミュニケーション断絶防止技術の研究	若手研究(B)	500	150

柳川 竜一	建物群破壊確率モデルの高精度化	若手研究(B)	847	240
鈴木 麻里子	生分解性樹脂コンクリートの実用化へ向けた実験的検討	研究活動スタート支援	1,000	300
田辺 絵理奈	エネルギー変換の多様性を学ぶスロットカー製作教材の開発	奨励研究	500	
河口 尚宏	複数分野の有機的結合による多角的分析力の涵養ー通信技術に着目してー	奨励研究	130	
垂水 良浩	学生の携帯電話を使用したオリジナルカーによるソフトウェア実験教材の開発	奨励研究	540	
計 28 件			26,754	7,044

4.3.2 各種補助金（平成28年4月～平成29年3月）

キャンパス	件数	受入金額（千円）
高 松	2 件	6,110
詫 間	2 件	5,449
合 計	4 件	11,559

4.3.3 共同研究（平成28年4月～平成29年3月）

キャンパス	件数	受入金額（千円）
高 松	12 件	3,168
詫 間	9 件	6,437
合 計	21 件	9,605

4.3.4 受託研究（平成28年4月～平成29年3月）

キャンパス	件数	受入金額（千円）
高 松	3 件	7,215
詫 間	2 件	5,100
合 計	5 件	12,315

4.3.5 受託事業（平成28年4月～平成29年3月）

キャンパス	件数	受入金額（千円）
高 松	4 件	3,510
詫 間	0 件	0
合 計	4 件	3,510

4.3.6 寄附金（平成28年4月～平成29年3月）

キャンパス	件数	受入金額（千円）
高松	20件	9,600
詫間	8件	4,455
合計	28件	14,055

4.3.7 助成金等（平成28年4月～平成29年3月）

キャンパス	件数	受入金額（千円）
高松	3件	1,500
詫間	2件	3,976
合計	5件	5,476

4.3.8 外部研究費総計（平成28年4月～平成29年3月）

研究種目	件数	受入金額（千円）
科研費，補助金，共同研究，受託研究，受託事業，寄附金，助成金等	95件	90,317

4.4 教員の活動状況

4.4.1 受賞

氏名	表彰日	表彰名称	表彰者
向谷 光彦	H28. 4. 22	四国支部賞（技術開発賞）	公益社団法人地盤工学会 四国支部支部長
逸見 知弘	H28. 6. 9	一般社団法人日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門ベストプレゼンテーション表彰	一般社団法人日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門
多川 正	H28. 11. 29	香川県知事賞（フソウ技術開発振興基金助成事業）	香川県知事

4.4.2 学位取得

氏名（所属）	大学名	取得日	学位
—	—	—	—

4.4.3 非常勤講師

氏名（所属）	大学名	期間
岡田 憲司（機械工学科）	香川大学（香川）	H28. 4. 1～H28. 9. 30
本田 道隆（電気情報工学科）	徳島大学（徳島）	H28. 4. 6～H29. 3. 31
岡野 寛（一般教育科）	四国医療福祉専門学校（香川）	H28. 4. 1～H29. 3. 31
内田 由理子（一般教育科）	就実大学（岡山）	H28. 4. 1～H29. 3. 31
吉澤 恒星（一般教育科）	香川大学（香川）	H28. 4. 1～H29. 3. 31
上代 良文（機械工学科）	香川大学（香川）	H28. 10. 1～H29. 3. 31
與田 純（一般教育科）	四国学院大学（香川）	H28. 4. 1～H28. 9. 30